

DENON
PROFESSIONAL

DN-900R

ネットワーク SD/USB レコーダー

ユーザーガイド

目次

はじめに	5
同梱物	5
サポート	5
設定	6
お客様にご用意いただくもの	6
システム接続図例	6
オーディオ接続	7
電源コードの接続	7
SD カードを装着する	7
操作	8
録音の準備をする	8
録音のしかた	9
お買い上げ時の設定	9
録音したファイルを再生する	10
特徴	10
フロントパネル	10
リアパネル	12
ディスプレイ	13
プロパティ表示 (再生/ 一時停止/ サーチ/ 停止中)	15
録音中、録音待機中の表示	16

システム設定 (System Setting) メニュー	18
ユーティリティメニュー (Utility Menu)	23
メディアの選択	25
ファイルとフォルダ	26
ファイルやフォルダを選択する	26
メニュー操作のしかた	30
プリセット設定 (USER PRESET SEL)	30
プリセット名の変更のしかた	37
録音	38
録音中にできること	42
再生	43
再生中にできること	44
プログラムリストメニューの一覧	47
ホットスタート	50
編集機能	52
結合 (COMBINE)	52
分割 (DIVIDE)	52
コピー (COPY)	53
移動 (MOVE)	54
元に戻す (UNDO)	54
ネットワークに接続する	55
Dante 接続	56
Web Remote	57

パスワード.....	57
メイン画面.....	58
コントロール画面.....	60
プログラム画面.....	62
ファイルリスト画面.....	63
ホットスタート画面.....	64
システム設定画面.....	65
ユーティリティ画面.....	67
プリセット設定画面.....	68
再生タイマー設定画面.....	69
録音タイマー設定画面.....	70
アーカイブ設定画面.....	71
ファイルのアーカイブ.....	73
シリアルリモートコントロール機能.....	74
トラブルシューティング.....	76
付録.....	78
技術仕様.....	78
商標およびライセンス.....	80

ユーザーガイド

はじめに

このたびは DN-900R をお買い上げいただきありがとうございます。Denon Professional はお客様にとって大切なパフォーマンスと信頼性を最高のものにすることを念頭に置き機器を設計しています。

同梱物

DN-900R

電源コード

クイックスタートガイド

SD カードドア用セキュリティねじ x4

クイックスタートガイド/保証書

サポート

本製品の最新情報（システム要件や互換性情報など）は、DENON Professional の WEB サイト denonpro.jp をご確認ください。

また修理や操作方法についてのお問い合わせは、カスタマーサポート denonpro.jp/support/にご連絡ください。 .

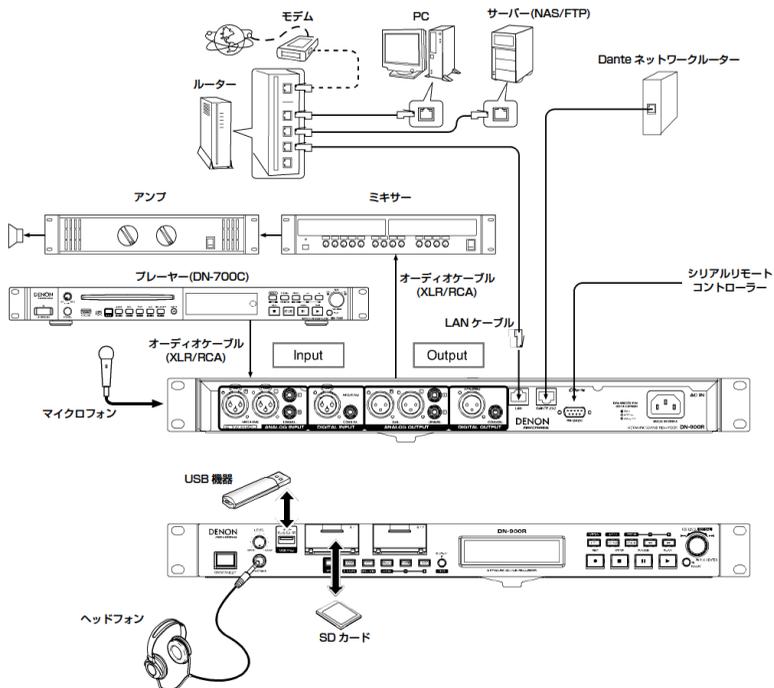
設定

お客様にご用意いただくもの

はじめに>同梱物にないものは別売りです。

- SD カード
- USB メモリー
- ヘッドフォン
- マイク
- パソコン
- モデム
- ルーター
- サーバー(NAS/FTP)
- オーディオケーブル(XLR/RCA)
- シリアルリモートコントローラー(RS-232C Straight cable)
- ラックマウント用ネジ

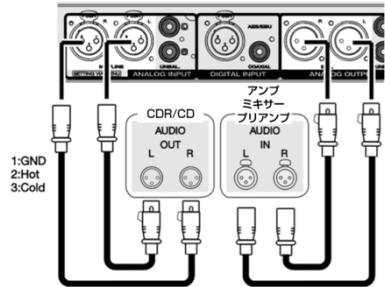
システム接続図例



オーディオ接続

アナログ接続 (バランス接続)

アナログ入出力 (バランス) 端子にラインレベルのアナログ入力 または出力を接続します。

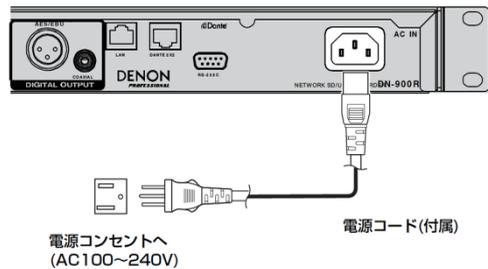


電源コードの接続

すべての接続が終わってから、電源コードを接続してください。必ず安全アースの接地も確認してください。

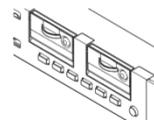
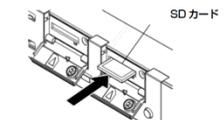
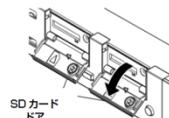
注：

- 電源プラグはしっかりと差し込んでください。不完全な差し込みは、誤動作や雑音の原因になります。
- 本機が動作しているときは、電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- 付属の電源コード以外のコードを使用しないでください。



SD カードを装着する

1. SD カードドアを矢印方向に開けます。ディスプレイに[SD# DOOR OPEN]を表示します (#は選択している SD カードスロットの番号です)。
2. SD カードは一方方向にしか挿入できません - ラベル面を上にしてコネクタ側を先に挿入してください。SD カードスロットに SD カードを“カチッ”と音がするまで奥に差し込みます。
3. SD カードのドアを閉じます。
SD カードドアがカチッと閉まらないときは、SD カードが奥まで正しく差し込まれているかを確認してください。



録音の準備をする

注：

- ご使用前に必ず時計を設定してください。
- SD カードに録音する場合は、あらかじめ本機で SD カードのフォーマットを行なってください。

Utility を選択する

1. 電源スイッチを押します。
2. 停止中に **MENU** を押します。
3. ジョグダイヤルを回して **[Utility]** を選び、**ENTER** を押します。

Time/Date を設定する

1. **Menu** を押してメニューリストを表示します。
2. **[Utility]** を選んでからジョグダイヤルを回して **[Date/Time]** を選び、**ENTER** を押します。
3. ジョグダイヤルを回して入力する位置 (年/ 月/ 日/ 時/ 分) を選び、**ENTER** を押します。
4. ジョグダイヤルを回して設定値を選び、**ENTER** を押します。
5. すべての設定が入力されると自動的に保存され、**Utility** メニューが表示されます。設定の一部のみを変更した場合は (すべてが変更されていない場合は) **[Back]** を 2 回押します。 **[Fix]** と **[Discard]** を表示します。
6. ジョグダイヤルを回して **[Fix]** を選び、**ENTER** を押して設定を確定します。 **[Discard]** を選択すると、設定を破棄します。

SD カードをフォーマットする

1. **Menu** を押してメニューリストを表示します。
2. **[Utility]** を選んでからジョグダイヤルを回して **[Format Media]** を選び、**ENTER** を押します。メディアリストを表示します。
3. ジョグダイヤルを回してメディアを選び、**ENTER** を押します。
4. ジョグダイヤルで **[OK]** を選び、**ENTER** を押します。
フォーマット中は **[Formatting]** を表示し、完了すると **[Completed]** を表示します。

現在使用中のメディア (SD) の書き込みおよび読み出しのスピードをチェックすることもできます。

1. **Menu** を押してメニューリストを表示します。
2. **[Utility]** から **[Speed Check]** を選びます。メディアリストを表示します。
3. ジョグダイヤルを回してメディアを選び、**ENTER** を押します。
4. ジョグダイヤルで **[OK]** を選び、**ENTER** を押します。

5. スピードのチェックが完了すると、次のような結果を表示します。
 - **Good** : チェックしたメディアは使用に適しています。
 - **Good w/o Rec Mon** : チェックしたメディアは、単なる録音には適していますが、録音モニターには適していません。
 - **Poor** : チェックしたメディアは使用に適していません。
6. **[OK]**を選び、**ENTER**を押します。

録音のしかた

1. **RECORD** ボタンを押します。録音待機状態になり **RECORD** ボタンが点滅します。
2. ジョグダイヤルで録音レベルを調節します。Shift ボタンを押しながらジョグダイヤル回して録音バランスを調整します。
3. **RECORD** ボタンを押して録音を開始します。
録音を開始したファイルのファイル名は UPnP (ユニバーサル・プラグ&プレイ)機器名、録音開始時間、ユーザーエリアデータから構成されます
これらの作成フォーマットは、**System Setting > File Name Form** で選択できます。ファイル名は **System Setting > User Area** が On のときに入力できます。録音開始後、録音開始時間が確定するまで、ファイル名の録音開始時間は進み続けます。
4. **STOP** を押すと録音が停止します。

お買い上げ時の設定

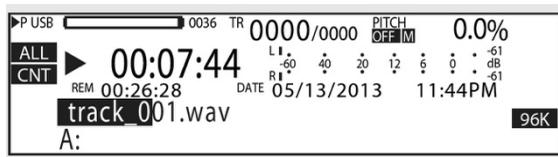
本機のお買い上げ時の主な設定は次のとおりです。

Preset Setting	
One Touch Record	Off
Audio Input	Bal
Record Format	MP3-320
Record Channel	Stereo
Sample Rate	44.1k
Silent Skip	Off
Play Range	Folder
Play Mode	Continuous

System Setting	
Record Folder	Current
Signal Pass Through	On
Output Rate	Auto
Line/Mic Lch	Line
Line/Mic Rch	Line
Serial Bit Rate	9600

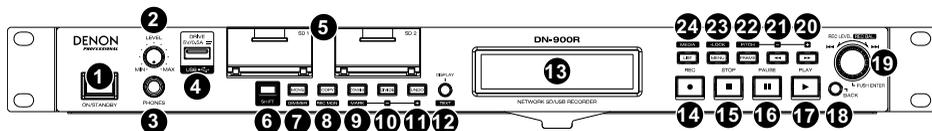
録音したファイルを再生する

1. **PLAY** を押して再生します。
2. 再生を一時的に停止する場合再生中に **PAUSE** を押します。PLAY を押すと、再生を再開します。
3. 再生を停止する場合は **STOP** を押します。



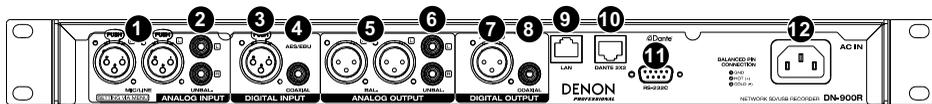
特徴

フロントパネル



1. **電源スイッチ**：DN-900Rの電源をオンまたはオフにします本機はネットワークアクセスによる低電力動作のために電源を入れると Network Standby モードになります (System Setting メニューで有効にしている場合)。System Setting で Network Standby が有効になっていない場合、電源を入れるとユニットはネットワークアクセスなしで Standby モードになります。**電源コード**がコンセントに正しく接続されていることを確認してください。録音または再生中に本機の電源を切らないでください。メディアを損傷する可能性があります。
2. **ヘッドフォン音量調節つまみ (LEVEL)**：ヘッドフォンの音量を調節します。
3. **ヘッドフォン出力**：1/4 インチ (6.35 mm) TRS のヘッドフォンを接続します。
4. **USB ドライブ端子**：マストレージクラスの USB 機器を接続します。
5. **SD カードスロット**：ドアを開けて SD/SDHC カードを差し込みます。プラスチック製の固定用ピンを取り外し、付属のねじを使ってセキュリティのためにドアを固定できます。
6. **SHIFT**：ボタン下に記されている二次的な機能を使用するときに押します。
7. **MOVE/DIMMER**：在のトラックのファイルを移動します。**SHIFT** ボタン点灯時に押すと、ディスプレイと LED の表示の明るさを切り替えます。
8. **COPY/REC MON**：選択したトラックのファイルをコピーします。**SHIFT** ボタンを押しながらこのボタンを押すと録音モニターのオン/オフが切り替わります。
9. **COMBINE/MARK**：選択したトラックと他のトラックを結合します。**SHIFT** ボタンを押しながらこのボタンを押すと、現在の再生もしくは録音位置にマークを追加します。
10. **DIVIDE/MARK -**：現在選択中のトラックを現在の再生/録音位置で分割します。**SHIFT** を押しながらこのボタンを押すと現在の再生位置よりも前にあるマークにジャンプします。

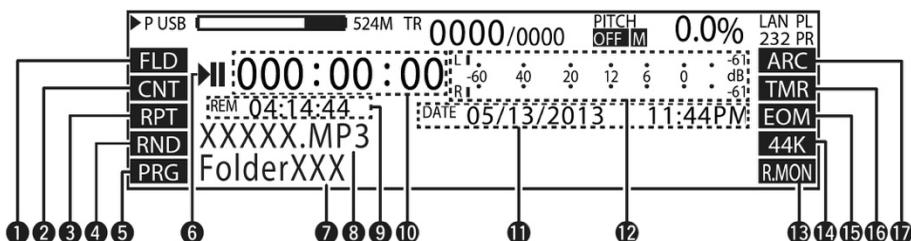
11. **UNDO/MARK +** : 直前の編集を取り消します。**SHIFT** を押しながらこのボタンを押すと現在の再生位置よりも後ろにあるマークにジャンプします。
12. **DISPLAY/TEXT** : 画面を切り替えます。**SHIFT** を押しながらこのボタンを押すとテキスト表示をスクロールします。
13. **ディスプレイ** : 現在の状況を表示します。詳しくは**ディスプレイ**をご参照ください。
14. **REC ボタン** : 録音待機および録音開始に使用します。録音中は REC ボタンが点灯、録音待機中は点滅します。
15. **STOP ボタン** : 再生および録音を停止します。
16. **PAUSE ボタン** : 再生または録音を一時停止します。
17. **PLAY ボタン** : 再生を開始します。
18. **BACK ボタン** : 1 つ前のメニューに戻ります。ファイルリスト表示中は、**SHIFT** ボタンを押しながらこのボタンを押すと、リストのトップヘカーソルを移動します。
19. **ジョグダイヤル/ENTER ボタン** : 再生中ダイヤルを回すとトラックをスキップします。このダイヤルを押すと選択したメニューを確定します。停止中 **SHIFT** ボタンを押しながら回して録音レベルや録音バランスを調節します。**Preset Setting > Rec Level Type** メニューで **SHIFT** 機能が録音レベルを制御するか、録音バランスを制御するかを選択します。
20. **早送り/ピッチ +ボタン** : 早送りサーチをします。フレームモード時はフレーム単位で順方向にジャンプします。**SHIFT** ボタンを押しながらこのボタンを押してピッチを設定します。
21. **早戻し/ピッチ -ボタン** : 早戻しサーチをします。フレームモード時はフレーム単位で逆方向にジャンプします。**SHIFT** ボタンを押しながらこのボタンを押してピッチを設定します。
22. **FRAME/PITCH ボタン** : **早戻し/早戻し** ボタンの機能をフレームモード またはサーチモードに切り替えます。**SHIFT** ボタンを押しながらこのボタンを押して **PITCH (ピッチ)** のオン/ オフを切り替えます。
23. **MENU/LOCK ボタン** : メニューを表示します。**SHIFT** キーを押したままこのボタンを約 1 秒間押し続けると [keys restricted (キーが制限されました)] が表示されます。キーが制限されたら **Shift** キーを押したまま、**MENU/LOCK** ボタンを約 1 秒間押し続けると [All Keys Locked (全キーがロックされました)] が画面に表示されます。すべてのキーがロックされているときに **SHIFT** ボタンを押しながら、**MENU/LOCK** ボタンを約 1 秒間押し続けると [All Keys Unlocked (すべてのキーがアンロックされました)] が画面に表示されます。
24. **LIST/MEDIA ボタン** : ファイルリストを表示します。**SHIFT** を押しながらこのボタンを押すとメディアを切り替えるためのメディアリストを表示します。



1. **アナログ入力 (バランス XLR) 端子**：標準の XLR ケーブルでマイクなどの音源に接続します。
2. **アナログ入力 (アンバランス RCA) 端子**：標準の RCA ステレオケーブルで CD プレーヤーなどの音源に接続します。
3. **デジタル入力端子 (XLR)**：デジタル XLR ケーブル (IEC60958 Type I, AES / EBU) で音源に接続します。
4. **デジタル入力端子 (RCA)**：デジタル RCA ケーブル (IEC60958 Type II, S / PDIF 同軸) で音源に接続します。
5. **アナログ出力 (バランス XLR)端子**：標準の XLR ケーブルで外部スピーカー、サウンドシステムなどに接続します。
6. **アナログ出力 (アンバランス RCA) 端子**：標準 RCA ステレオケーブルで外部スピーカー、サウンドシステムなどに接続します。
7. **デジタル出力端子 (XLR)**：デジタル XLR ケーブル (IEC60958 Type I, AES/EBU) でサウンドシステムに接続します。
8. **デジタル出力端子 (RCA)**：デジタル同軸 RCA ケーブル (IEC60958 Type II, S/PDIF 同軸) でこの出力をサウンドシステムに接続します。
9. **LAN ポート**：標準のイーサネットケーブル (IEEE 802.3u (3.3V I/O) / 10/100 Base-T (X) / RJ-45) でネットワークスイッチまたはルーターに接続します。
10. **Dante ポート**：標準のイーサネットケーブルで Dante ネットワークに接続します。Dante チャンネルのルーティングは、audite.com/products/software/dante-controller から Dante Control ソフトウェアを使用して設定します。
11. **RS-232C ターミナル**：9 ピン D-sub コネクタでコンピューターなどのホスト機器を DN-900R に接続し、シリアルコマンドを用いて制御します。
注：詳細は denonpro.com で入手可能なシリアルプロトコルガイドをご参照ください。
12. **AC インレット (AC IN)**：付属の電源コードを接続します。

ディスプレイ

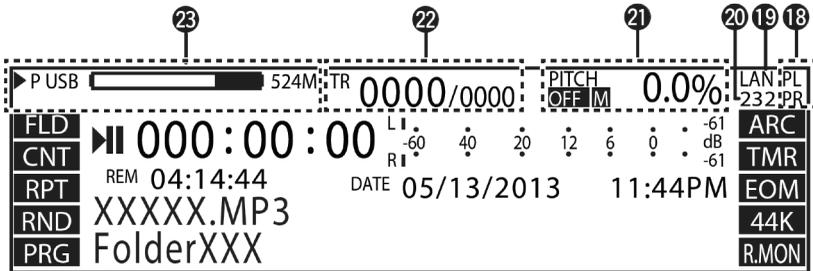
本機のディスプレイは、本機や各メディアに関するさまざまな情報を表示します。表示する内容は、本機の動作状態（停止/再生/録音）によって異なります。



1. **再生範囲**：Preset Setting>Play Rangeの設定を表示します。FLD：現在のフォルダー / ALL：全フォルダー
2. **再生モード**：Preset Setting>20 Play Modeの設定を表示します。CNT：連続再生 / SGL：1曲再生
3. **リピート再生**：Preset Setting>Repeatの設定を表示します。PRT：リピート再生ONの時に表示します。
4. **ランダム再生**：Preset Setting>Randomの設定を表示します。RND：ランダム再生ONの時に表示します。
5. **プログラム再生**：Preset Setting>Programの設定を表示します。PRG：プログラム再生ONの時に表示します。
6. **ステータス**：機器の動作状態を表示します。

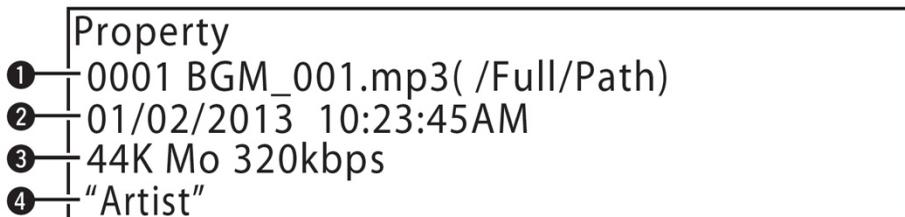
STOP	■
CUE	■
PAUSE	
AUDIBLE PAUSE	▶
SEARCH	◀▶▶▶
PLAY	▶
RECORD PAUSE	●
RECORD	●

7. **フォルダ名**：選択したフォルダへのパスを表示します。
8. **トラック名**：選択したトラック名を表示します。



9. **残り時間**：現在トラックの残り時間を表示します。表示形式は **Preset Setting > Time Display** で設定できます。選択したトラックが VBR (Variable Bit Rate) 形式のときは、おおよその残り時間を表示します。
10. **経過時間**：現在選択されているトラックの再生経過時間を表示します。表示形式は **Preset Setting > Time Display** で設定できます。
11. **時間/日付**：停止中は、現在日時を表示します。再生中は、選択したトラックの作成日時を表示します。表示形式は、**System Setting**メニューで設定できます。
12. **再生レベル**：再生レベルを表示します。3秒間のピークホールド付きです。
13. **録音モニター**：録音モニターの状態を表示します。R.MON：録音モニターがオンの時に表示します。
14. **サンプリングレート**：音声出力のサンプリングレート (44K/48K/96K) を表示します。Extが選択されているとき、システムがリカバリされたクロック (AES/EBU) をシステムのサンプルレートとして使用しています。その際[EXT]を点滅表示します。
15. **曲の終了通知**：曲の終わりに近づくと[EOM]を表示します。
16. **タイマー表示**：Timer再生あるいはTimer録音中に[TMR]が点滅します。
17. **アーカイブ表示**：**Archive Setting > Archive Mode**でOff 以外を設定すると[ARC]を表示します。アーカイブ実行中は点滅します。
18. **ファンタム電源**：ファンタム電源が設定の**System Setting > Phantom Lch (PL)**と**System Setting > Phantom Rch (PR)**がOnの時に表示します。
19. **イーサネット表示**：イーサネットポートを使用中に表示します。
20. **リモートシリアル接続表示**：リモートシリアルコマンドの受信中に表示します。
21. **ピッチ**：ピッチ機能、マスターキー、再生スピード (%)のOn/Offステータスを表示します。マスターキーがオンの時[M]を表示します。
22. **トラック番号**：右側は選択したメディアの総トラック数を表示し、左側は選択したトラック番号を表示します。
23. **メディア表示**：選択中のメディアのタイプ (SD1/SD2/USB/NET) と空き容量を表示します。上側には現在選択されているメディアが設定され、先頭に[P]を表示します。下側には、バックアップメディア (デュアル録音) が設定されているときは、先頭に[B]を表示します。セカンダリーメディア (リレー録音) が設定されているときは、先頭に[S]を表示します。[1]は現在選択されているメディアを示します。選択されているメディアの空き容量がないときは、[MEDIA FULL]を表示します。2000トラックに達しているときは、[TRACK FULL]を表示します。メディアが書き込み禁止の場合は、[WRITE LOCK]を表示します。メディアが[NET]の場合、空き容量は表示されません。

プロパティ表示 (再生/ 一時停止/ サーチ/ 停止中)

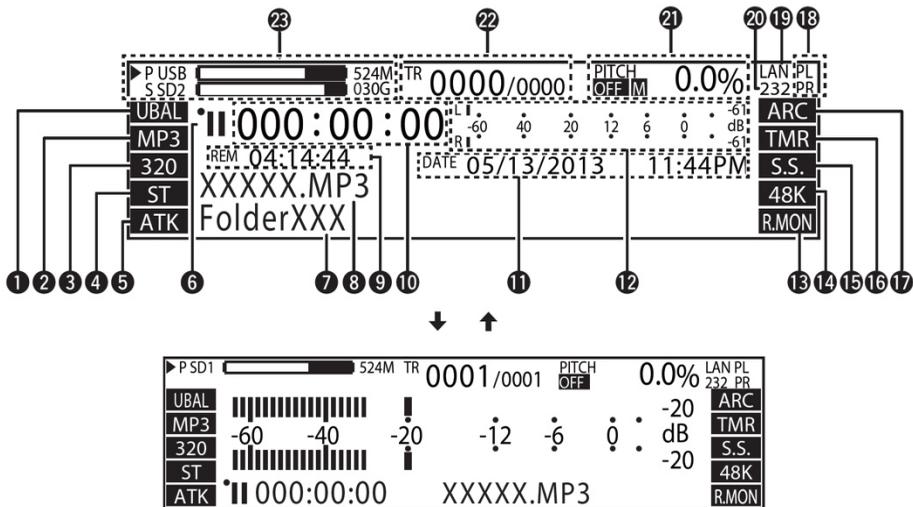


1. **トラック番号/ファイル名**：選択したトラック番号、ファイル名を表示します。かっこ内にファイルが存在するフォルダへのパスを表示します。
2. **時間/日付表示**：選択したトラックの作成日時を表示します。表示形式は、**System Setting** メニューで設定できます。
3. **トラック録音情報**：サンプリングレート、チャンネル St: ステレオ /Mo: モノラル、ビットレートを表示します。
4. **アーティスト名**：MP3ファイルのID3 tag内のアーティスト名を表示します。

注：テキスト情報が収まりきらない場合は、シフトを押しながらTEXTを押すと隠れているテキストが表示されます。

録音中、録音待機中の表示

DISPLAYでレベルメーターを大型化した表示に切り替えることができます。



1. 録音入力：現在のPreset Setting>Audio Inputを表示します。UBAL：Unbalanced / BAL：Balanced、AES：AES/EBU、Dante：Dante Network、COAX：Coaxial
2. 録音ファイル：Preset Setting>Rec Formatを表示します。MP3およびWAVから選択します。
3. 録音方式：Preset Setting > Rec Formatを表示します。MP3：ビットレート/WAV：量子化ビット数
4. 録音チャンネル：Preset Setting > Rec Channelを表示します。ST：Stereo / MONO：Mono (Lch) / MIX：Lch Rch Mix
5. オートトラック：現在のPreset Setting>Auto TrackがOnの時に[ATK]を表示します。
6. ステータス表示：機器の動作状態を表示します。

STOP	■
CUE	■
PAUSE	
AUDIBLE PAUSE	▶
SEARCH	◀▶▶
PLAY	▶
RECORD PAUSE	●
RECORD	●

7. **フォルダ名**：選択したフォルダへのパスを表示します。
8. **トラック名表示**：**Auto Track > Preset Setting**でオフ以外ではプログレスバーを表示します。
9. **残り時間**：選択したメディアの録音可能残時間を表示します。表示形式は**Preset Setting > Time Display**で設定できます。残り時間表示として該当しない場合は、[--:--:--]を表示します。
10. **経過時間**：現在トラックの録音経過時間を表示します。表示形式は**Preset Setting > Time Display**で設定できます。
11. **時間/日付**：録音動作中は、録音開始日時を表示します。
12. **録音レベルメーター**：録音レベルを表示します。3秒間のピークホールド付きです。
13. **録音モニター**：録音モニターの状態を表示します。R.MON：録音モニターがオンの時に表示します。
14. **サンプリングレート**：録音サンプリングレート。Ext(AES) の場合で、サンプリングレートが非該当のときは、“EXT”を点滅表示します。**Preset Setting>Sample Rate**を表示します。
15. **サイレントスキップ**：**Preset Setting > Silent Skip**がOnの時に[S.S.]を表示します。
16. **タイマー**：**Preset Setting > Rec Timer**または**Preset Setting > Play Timer**の設定時に[TMR]を表示します。
17. **アーカイブ**：**Archive Setting > Archive Mode**でOff 以外を設定すると[ARC]を表示します。アーカイブ実行中は点滅します。
18. **ファンタム電源**：ファンタム電源がオンで表示します。**System Setting > Phantom Lch (PL)**および**System Setting > Phantom Rch (PR)**で選択します。
19. **イーサネット**：イーサネット使用中に表示します。
20. **リモートシリアル接続**：リモートシリアルコマンドの受信中に表示します。
21. **ピッチ**：ピッチ機能、マスターキー、再生スピード (%)のOn/Offステータスを表示します。マスターキーがオンの時[M]を表示します。
22. **トラック番号**：右側は選択したメディアの総トラック数を表示し、左側は選択したトラック番号を表示します。
23. **メディア表示**：選択中のメディアのタイプ (SD1/SD2/USB/NET) と空き容量を表示します。[1]は現在選択されているメディアを示します。上側には現在選択されているメディアが設定され、先頭に[P]を表示します。下側には、バックアップメディア (デュアル録音) が設定されているときは、先頭に[B]を表示します。セカンダリーメディア (リレー録音) が設定されているときは、先頭に[S]を表示します。選択されているメディアの空き容量がないときは、[MEDIA FULL]を表示します。2000トラックに達しているときは、[TRACK FULL]を表示します。メディアが書き込み禁止の場合は、[WRITE LOCK]を表示します。メディアが[NET]の場合、空き容量は表示されません。

システム設定 (System Setting) メニュー

Timer Priority : タイマー再生の優先度を設定します。

- **Off** : スタンバイ、停止、キュー状態のときだけタイマー再生を開始します。
- **On** : 録音状態以外のときにタイマー再生を開始します。

Rec Folder : 録音時データを保存するフォルダを設定します。

- **Current** : 現在選択中のフォルダに録音データを保存します。
- **Fixed** : ルート直下の固定フォルダに録音データを保存します。

フォルダがないときはフォルダを自動生成します。フォルダ名は[DMH_REC]です。

注 : Preset SettingメニューのPlay Rangeを[All]に設定している場合は、ルートフォルダに保存します。

Signal Pass Thru : 録音または録音待機時の入力信号のモニター出力を設定します。入力信号はSignal Pass Thru 設定に関係なく常にヘッドフォン出力されます。

- **Off** : 入力信号をモニター出力しません。
- **On** : 入力信号をそのままモニター出力します。

User Area : 録音するファイル名に付加される文字列 (ユーザーエリア) を設定します。

- **Off** : ユーザーエリアを使用しません。
- **On** : ユーザーエリアを使用します。

File Name Form : 録音時のファイル名の作成フォーマットを設定します。

- **MN_DT_UA** : マシンネーム _ 録音開始時間 _ ユーザーエリア .zzz
- **MN_UA_DT** : マシンネーム _ ユーザーエリア _ 録音開始時間 .zzz
- **DT_MN_UA** : 録音開始時間 _ マシンネーム _ ユーザーエリア .zzz
- **DT_UA_MN** : 録音開始時間 _ ユーザーエリア _ マシンネーム .zzz
- **UA_MN_DT** : ユーザーエリア _ マシンネーム _ 録音開始時間 .zzz
- **UA_DT_MN** : ユーザーエリア _ 録音開始時間 _ マシンネーム .zzz

Mono Play : モノラル再生を設定します。

- **Off** : 入力ソースに準じてチャンネル出力します。
- **On** : 強制的にモノラル出力します。

Output Rate : 出力する音声のサンプリングレートを設定します。

- **Auto** : 入力ソースに準じたレートで音声を出します。
- **44.1k** : 44.1 kHz で音声を出します。
- **48k** : 48kHz で音声を出します。
- **Ext (AES)** : 外部クロック (AES/EBU) を使用し、音声を出します。

注 : 外部クロックが96kHzの場合、再生ファイルが96kHz以外の場合は、再生ファイルのサンプリング

グレートにしたがって音声を出力します。

注：DN-900R は出力サンプルレートを Dante サンプルレートに変換します。

Line/Mic Lch：XLR の左チャンネルのモード設定をします。

- **Line**：ライン入力にします。
- **Mic**：マイク入力にします。

Line/Mic Rch：XLR の右チャンネルのモード設定をします。

- **Line**：ライン入力にします。
- **Mic**：マイク入力にします。

Phantom Lch：[Line/Mic Lch]のファンタム電源 (+48V) の設定をします。

- **Off**：左チャンネルのファンタム電源をオフにします。
- **On**：左チャンネルのファンタム電源をオンにします。ただし、[Line/ Mic Lch]が[Line]のときは、ファンタム電源をオフにします。

Phantom Rch：[Line/Mic Rch]のファンタム電源 (+48V) の設定をします。

- **Off**：右チャンネルのファンタム電源をオフにします。
- **On**：右チャンネルのファンタム電源をオンにします。ただし、[Line/ Mic Rch]が[Line]のときは、ファンタム電源をオフにします。

Mic In Sens Lch：左チャンネルの XLR マイク感度を 1 dBu 刻みで調節します。

- **-16 dBu / -40 dBu / -60 dBu**

Mic In Sens Rch：右チャンネルの XLR マイク感度を 1 dBu 刻みで調節します。

- **-16 dBu / -40 dBu / -60 dBu**

Volume Input：アナログの録音入力レベルを設定します。

- **Fixed (0dB)**：0dB に固定します。
- **Variable**：0.1dB 刻みで、ミュート、**- 60 / 0 / 10dB** で可変します。

Ref (XLR/RCA) : 入出力の基準レベルを設定します。

- **+24 dBu/+10 dBV :** XLR = +24 dBu / RCA = +10 dBV
- **+20 dBu/+6 dBV :** XLR = +20 dBu / RCA = +6 dBV
- **+18 dBu/+4 dBV :** XLR = +18 dBu / RCA = +4 dBV

Input Trim Lch : 左チャンネルのアナログ入力を 0.1dB 刻みで調節します。

- **+2.0 dB / 0 dB / -2.0 dB**

Input Trim Rch : 右チャンネルのアナログ入力を 0.1dB 刻みで調節します。

- **+2.0 dB / 0 dB / -2.0 dB**

Output Trim Lch : 左チャンネルのアナログ出力を 0.1dB 刻みで調節します。

- **+2.0 dB / 0 dB / -2.0 dB**

Output Trim Rch : 右チャンネルのアナログ出力を 0.1dB 刻みで調節します。

- **+2.0 dB / 0 dB / -2.0 dB**

Time Form : 現在時刻表示のタイプを設定します。

- **12h :** 12 時間表示 (AM/PM) をします。
- **24h :** 24 時間表示をします。

Date Form : 日付の表示順を設定します。

- **MDY :** 月/日/年の順に表示します。
- **DMY :** 日/月/年の順に表示します。
- **YMD :** 年/月/日の順に表示します。

Display Contrast : ディスプレイのコントラストを設定します。

- **1 - 5 :** 1 が最も暗く、5 が最も明るくなります。

Serial Bit Rate : RS-232C のシリアル通信ビットレートを設定します。

- **9600 :** 9600 bps
- **38400 :** 38400 bps

Machine Name : UPnP 機器の名称を表示します (最大 12 文字)。

IP Address

- **Auto :** DHCP サーバーが自動で割り当てます。
- **Static :** 固定 IP アドレスを指定します。選択すると、固定アドレスを表示します。

Subnet Mask

- 注：[IP Address]を[Auto]に設定したときは表示しません。[Auto]以外のときに設定できます。
- **Static**：0.0.0.0 - 255.255.255.255. ([Auto]に設定したとき：255.255.255.0)

Gateway

- **None**：[IP Address]を[Auto]に設定したときは表示しません。[Auto]以外のときに設定できます。
- **Static**：0.0.0.0 - 255.255.255.255. ([Auto]に設定したとき：0.0.0.0)

DNS Server

- **None**：[IP Address]を[Auto]に設定したときは表示しません。[Auto]以外のときに設定できます。
- **Static**：0.0.0.0 - 255.255.255.255. ([Auto]に設定したとき：0.0.0.0)

IP Control Port：

- **0 - 65535**：IP コントロールポート番号を設定します。

IP Control Auth

- **Off**：IP コントロールに認証を不要とします。
- **On**：IP コントロールに認証を必要とします。

Network Standby

- **Off**：スタンバイ状態では、ネットワークからの制御ができません。(低消費電力モード)
- **On**：スタンバイ状態でもネットワーク関連の回路に電源が供給され、ネットワークからの制御が可能です。

NTP：NTP サーバーアドレスを表示します。**ENTER** を押すとアドレスが入力できます。その後、NTP のサイクルを選択します。

- **Off**：NTP を使用しません。
- **On**：NTP を使用します。

Syslog : Syslog サーバーアドレスを表示します。**ENTER** を押すとアドレスが入力できます。

- **Off** : イベント情報をサーバーに送り返しません。
- **On** : イベント情報をサーバーに送ります。

Time Zone : 時間のオフセットを 15 分単位で設定します。

- **-12:00 - +14:00 (00:00)**

Daylight Saving : 夏時間の設定します。

- **Off** : 夏時間に対応しません。
- **On** : 夏時間に対応します。

夏時間の開始日と終了日、オフセット時間を 15 分単位、6 時間まで設定できます。

Admin Passwd : [Web Remote]、[IP Control]または[System Setting]を利用する場合のアドミンパスワードを設定します。

- ******** : パスワードは 6 - 12 文字で設定してください。

Operator Passwd : [Web Remote]または[IP Control]を利用する場合のオペレーターパスワードを設定します。

- ******** : パスワードは 6 - 12 文字で設定してください。

Observer Passwd : [Web Remote]または[IP Control]を利用する場合のオブザーバーパスワードを設定します。

- ******** : パスワードは 6 - 12 文字で設定してください。

Auto Reboot

- **Off** : オートリブートしません。
- **On** : メインプロセッサがフリーズしたとき、オートリブートします。

Default : システム設定の内容をすべて初期化します。

Auto Power Off

- **Off** : Auto Power Off を行ないません。
- **On** : [Network Standby]がオフの場合、30 分操作をしないと自動的に電源が切れます。

Dante Reset : ファクトリーリセットを実行し、Dante デバイスのワイプをリポートします。

- ユーザー定義のデバイス名
- ユーザー定義のチャンネルラベル
- Clock 設定 (クロックマスター / 外部クロックマスター設定)
- 静的 IP アドレス
- サンプルレート設定 (プルアップ/ダウンを含む)
- レイテンシー設定
- すべてのオーディオルーティング

Utility Menu (ユーティリティメニュー)

Time/Date : 現在時刻を設定します。設定した時間は録音ファイル名として使用するため、使用前には必ず設定してください。ネットワークに接続して、**System Setting > NTP** を[On]に設定している場合は、現在時刻の設定は必要ありません。

Time/Date を設定する

1. **MENU** を押してメニューリストを表示します。
 2. [**Utility**]を選んでから**ジョグダイヤル**を回して[Date/Time]を選び、**ENTER** を押します。
 3. **ジョグダイヤル**を回して入力する位置 (年 / 月 / 日 / 時 / 分) を選び、**ENTER** を押します。
 4. **ジョグダイヤル**を回して設定値を選び、**ENTER** を押します。
 5. 現在時刻の表示タイプ (12 時間表示 / 24 時間表示) は、**System Setting > Time Form** で選択できます。
 6. 日付の表示順 (年/月/日) は、**System Setting > Date Form** で選択できます。
- 設定をすべて入力すると、**Utility** メニューに自動的に保存されます。

Time/Date の変更をキャンセルするには

1. **BACK** を 2 回押します。
2. **ジョグダイヤル**を回して[Discard]を選択し、**ENTER** を押します。

Load Setting : 現在使用中のメディア (SD1/SD2/USB) のルートディレクトリに記録されたプリセット設定ファイルを読み込んで、本体設定を変更します。

1. **MENU** を押してメニューリストを表示します。
2. [**Utility**]を選んでから**ジョグダイヤル**を回して[Load Setting]を選び、**ENTER** を押します。
3. [Load Preset]がされたら**ジョグダイヤル**で[OK]を選び、**ENTER** を押します。

現在使用中のメディア内にある[DN-xxxx.ini]ファイルを読み込み、本体設定を変更します。完了すると[Completed]を表示します。

Save Setting : 現在使用中のメディア (SD1/SD2/USB) のルートディレクトリに現在のプリセット設定を記録します。

1. **MENU** を押してメニューリストを表示します。
2. **[Utility]** を選んでから **ジョグダイヤル** を回して **[Save Setting]** を選び、**ENTER** を押します。
3. **[Save Preset?]** が表示されたら **ジョグダイヤル** で **[OK]** を選び、**ENTER** を押します。

現在使用中のメディアのルートディレクトリに **[DN-xxxx.ini]** ファイルを記録します。完了すると **[Completed]** を表示します。

Firmware Version : 本体のファームウェアバージョンを表示します。

1. **MENU** を押してメニューリストを表示します。
2. **[Utility]** を選んでから **ジョグダイヤル** を回して **[Firmware Version]** を選び **ENTER** を押します。

Network Status : ネットワークの設定情報を表示します。

1. **MENU** を押してメニューリストを表示します。
2. **[Utility]** を選んでから **ジョグダイヤル** を回して **[Network Status]** を選び、**ENTER** を押します。
ネットワークの IP/Mask、MAC、Gateway、DNS を表示します。

Dante Status : ネットワーク設定の情報を表示します。

1. **MENU** を押してメニューリストを表示します。
2. **[Utility]** を選んでから **ジョグダイヤル** を回して **[Dante Status]** を選び、**ENTER** を押します。
Dante Name、IP/Mask、MAC、Status (接続ステータス) を表示します。

Format Media : SD カードを消去します。

1. **MENU** を押してメニューリストを表示します。
2. **[Utility]** を選んでから **ジョグダイヤル** を回して **[Format Media]** を選び、**ENTER** を押します。メディアリストを表示します。
3. **ジョグダイヤル** を回してメディアを選び、**ENTER** を押します。
4. **ジョグダイヤル** で **[OK]** を選び、**ENTER** を押します。

フォーマット中は **[Formatting]** を表示し、完了すると **[Completed]** を表示します。

Speed Check : 現在使用中のメディアが録音に適しているかどうかをチェックします。

1. **ジョグダイヤル**で**[OK]**を選び、**ENTER** を押します。メディアのチェックを開始し、**[Check Speed...]**を表示します。
スピードのチェックが完了すると、次のような結果を表示します。
 - **Good** : チェックしたメディアは使用に適しています。
 - **Good w/o Rec Mon** : チェックしたメディアは、単なる録音には適していますが、録音モニターには適していません。
 - **Poor** : チェックしたメディアは使用に適していません。
2. **[OK]**を選び、**ENTER** を押します。

メディアの選択

選択できるメディアの一覧の表示

1. 停止中に **SHIFT** を押しながら **MEDIA** を押します。メディアリストを表示します。
 - **CURRENT** : 現在選択中のメディアです。
 - **DUAL** : **Preset Setting > Dual Rec** でバックアップメディアに設定されているメディアです。
 - **RELAY** : **Preset Setting > Relay Rec** でセカンダリーメディアに設定されているメディアです。
2. **ジョグダイヤル**を回してメディアを選び、**ENTER** を押します。選択したメディアが現在選択中のメディアになり、停止状態に戻ります。

メディアサーバーの表示と選択

1. 停止中に **SHIFT** を押しながら **MEDIA** を押します。メディアリストを表示します。
2. **ジョグダイヤル**を回して**[NET]**を選び、**ENTER** を押します。**[Server List]**を表示します。
3. **ジョグダイヤル**を回して再生したいメディアサーバーまたは PC を選択し、**ENTER** を押します。

注 :

- メディアサーバーを再生するときは、**Preset Setting > Play range** が**[All]**でも**[Folder]**設定で動作します。
- ネットワーク上のメディアサーバーや PC には録音できません。

ネットワーク上のファイルやフォルダには、次の制限事項があります。

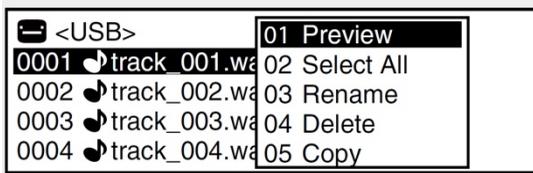
- ファイルの削除/分割/結合およびフォルダの作成/移動/削除できません。
- ファイル名/フォルダ名の変更できません。
- ネットワークから本体メディアへのファイル移動はできません。
- 本体メディアからネットワークへのフォルダのコピーはできません。

ファイルとフォルダ

選択できるフォルダやファイルの一覧を表示します。ファイルの管理操作をおこないます。ファイル情報の確認をしたり、ファイル名の変更、ファイルのコピー、移動、消去などができます。

ファイルやフォルダを選択する

- 再生画面の表示中に **LIST** を押します。ファイルリストを表示します。
- ジョグダイヤル**で親フォルダ [**Up One Level**] を選択して **ENTER** を押し、ひとつ上のフォルダ階層のファイルリストを表示します。
- ジョグダイヤル**でフォルダを選択して **ENTER** を押し、選択したフォルダ内のファイルリストを表示します。
- ジョグダイヤル**でファイルを選択して **ENTER** を押し、ファイルリストを閉じて選択したファイルの先頭にキューアップします。ファイルリストメニュー表示中に **BACK** を押し、前の画面に戻ります。
- LIST** を押し、フォルダ選択が終了し、停止状態に戻ります。



ファイルリストメニューの一覧

ディスプレイ	機能
01 Preview	選択したファイルを 1 曲のみ試聴します。
02 Select All	リスト中の全ファイルを選択状態にします。
03 Rename*	ファイル名、フォルダ名を変更します。
04 Delete	選択したファイルやフォルダを消去します。
05 Copy*	選択したファイルやフォルダをコピーします。
06 Move*	選択したファイルやフォルダを移動します。
07 Make Folder	新たなフォルダを作成します。
08 Delete Mark	選んだファイルからすべてのマークを削除します。
09 Property	選択したファイルの情報を表示します。

* 編集直後のとき、[UNDO]で編集を元に戻すことができます。

ファイルの再生 (Preview)

選んでいるファイルの試聴のために再生をします。

1. ジョグダイヤルを回して[Preview]を選び、ENTER を押します。
2. STOP または、ENTER を押すと再生を停止し、ファイルリストメニューに戻ります。

コピーや移動、消去対象ファイルの全選択 (Select All)

ジョグダイヤルを回して[Select All]を選び ENTER を押します。すべてのファイルが選択状態になり、ファイルリストに戻ります。先頭にチェックマークが付きます。

全選択状態だった場合は、すべて未選択状態になります。フォルダを変更した場合は、選択状態はクリアされます。

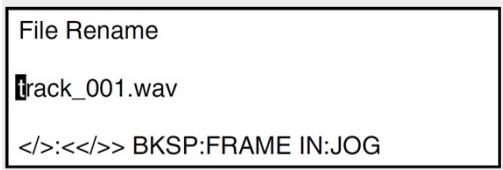
コピーや移動、消去対象の複数ファイル選択

ファイルリスト表示中に、SHIFT を押しながら ENTER を押します。カーソル上のファイルやフォルダが選択状態になり、先頭にチェックマークが付きます。

選択できるのは同一フォルダ内に限ります。選択を解除する場合は、もう一度選択する操作を行ないません。

ファイル名やフォルダ名の変更 (Rename)

1. ジョグダイヤルを回して[Rename]を選び ENTER を押します。最大 252 文字が使用できます。
2. << および >> で文字を挿入する位置にカーソルを合わせる。
3. ジョグダイヤルを回して入力する文字を選び、ENTER を押します。
4. 手順 2 と 3 をくり返してすべての文字を入力する。
5. ENTER を押して変更を保存する。



変更を保存せずに前の画面に戻るには、BACK を押します。

ファイル名やフォルダ名の最初または最後の文字にスペースを入力すると、そのスペースを削除してファイル名やフォルダ名を保存します。

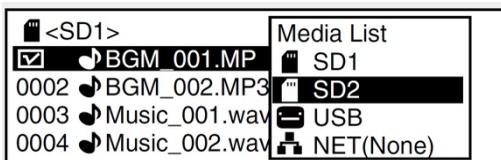
ファイルやフォルダの消去 (Delete)

1. ジョグダイヤルを回して[Delete]を選び、ENTER を押します。
2. [Delete?] を表示します。[OK]を選んで ENTER を押すと、ファイルを消去します。

[Cancel]を選んで ENTER を押すと、ファイル消去をキャンセルしてファイルリストメニューに戻ります。

ファイルやフォルダのコピー (Copy)

1. ジョグダイヤルを回して **[Copy]** を選び **ENTER** を押します。コピー先を決めるためのメディアリストを表示します。
2. ジョグダイヤルを回してコピー先になるメディアを選び、**ENTER** を押します。フォルダリストを表示します。
3. ジョグダイヤルを回してコピー先になるフォルダ階層のフォルダ階層の **[Copy Here?]** を選び、**ENTER** を押します。コピー中は“Executing...zzz%” (z：進捗状況) を表示します。コピーが完了すると **[Completed]** を表示します。



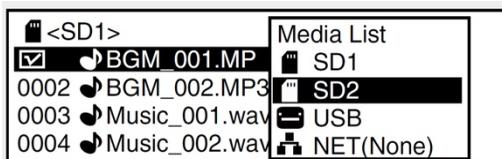
[Cancel] を選択して **ENTER** を押すと、コピーを中止します。

次の場合はコピーできません：

- メディアが書き込み禁止
- メディアの空き容量がない
- 同じファイル名 / フォルダ名が存在する

ファイルの移動 (Move)

1. ジョグダイヤルを回して **[Move]** を選び **ENTER** を押します。移動先を決めるメディアリストを表示します。
2. 移動先になるメディアを選び、**ENTER** を押します。フォルダリストを表示します。
3. ジョグダイヤルを回して移動先になるフォルダ階層のフォルダ階層の **[Move Here?]** を選び、**ENTER** を押します。移動を開始します。移動中は **[Executing...zzz%]** (z：進捗状況) を表示します。移動が完了すると **[Completed]** を表示します。
[Cancel] を選択して **ENTER** を押すと、移動を中止します。



次の場合は他のメディアに移動できません。

- メディアが書き込み禁止
- メディアの空き容量がない

フォルダの作成 (Make Folder)

1. ジョグダイヤルを回して [Make Folder] を選び **ENTER** を押します。名称変更メニューを表示します。
2. フォルダ名を入力し、**ENTER** を押して変更を保存する。

変更を保存せずに前の画面に戻るには、**BACK** を押します。

フォルダ名の最初または最後の文字にスペースを入力すると、そのスペースを削除してフォルダ名を保存します。

Make Folder

New Folder

</>:</> BKSP:FRAME IN:JOG

マークの削除 (Delete Mark)

1. ジョグダイヤルを回して [Delete Mark] を選び、**ENTER** を押します。[Delete Mark?] を表示します。
2. [OK] を選んで **ENTER** を押すと、マークを削除します。
[Cancel] を選んで **ENTER** を押すと、マーク削除をキャンセルしファイルリストに戻ります。

ファイル情報 (Property)

ジョグダイヤルを回して [Property] を選び **ENTER** を押します。ファイル情報を表示します。

ファイルリストメニューに戻るには、**BACK** を押します。

キーロック

1. **SHIFT** を押しながら **LOCK** を 1 秒以上押し続けます。[Keys Restricted] を表示します。使用可能な操作ボタン：SHIFT、LOCK、ON/STANDBY、PLAY、PAUSE、REC、MARK +/-、FRAME、◀◀、▶▶、|◀◀、▶▶|。ON/STANDBY は 4 秒以上押し続けると受け付けます。
2. さらに **SHIFT** を押しながら **LOCK** を 1 秒以上押し続けます。[All Keys Locked] を表示します。使用可能な操作ボタン：SHIFT、LOCK、ON/STANDBY。ON/STANDBY は 4 秒以上押し続けると受け付けます。
3. さらに **SHIFT** を押しながら **LOCK** を 1 秒以上押し続けます。[All Keys Unlocked] を表示します。すべてのキーロックを解除します。

メニュー操作のしかた

1. 本機の電源がオンのときに **MENU** ボタンを押します。メニュー一覧を表示します。

2. **ジョグダイヤル**を回して設定を変更するメニューを選び、**ENTER** を押します。

注：[System Setting]は Admin パスワードが設定されている場合、パスワードの入力が必要です。

3. **ジョグダイヤル**を回して設定を変更する項目を選び、**ENTER** を押します。

4. **ジョグダイヤル**を回して設定したい詳細項目を選び、**ENTER** を押します。

続けて他の項目を設定する場合は、手順 1 - 4 の操作を行なってください。現在設定中のメニュー項目から上のメニューに戻るときは、**BACK** を押してください。

MENU を押して設定の変更を保存する。

STOP を押して設定を中止します。[Exit without Saving?]を表示します。**ジョグダイヤル**を回して[OK]を選び、**ENTER** を押して設定を中止します。

プリセットの設定 (USER PRESET SEL)

3 通りのプリセット (PRESET1/PRESET2/PRESET3) を別々におこないます。MENU より **PRESETS** を選択します。

注：Web Remote を使用して、各プリセットをデフォルトに復元できます。[Current Preset No]を選択し、**Default** を押して **Save** を押します。フロントパネルの **MENU > Preset Setting Preset1 > Default** でもデフォルトに復元することができます。

Preset Title：プリセット名を変更します。

Shift Mode：シフトモードに切り替えるときの **SHIFT** ボタンの動作を設定します。

- **Momentary**：SHIFT ボタンを押しながら他のボタンを押すと、シフトモードに切り替わります。
- **Lock**：SHIFT ボタンを押すとシフトモードに切り替わります。その場合、SHIFT ボタンは点灯します。

Power On：本機の電源をオンにしたときの動作を設定します。

- **Stop**：電源をオンにしたとき、停止します。
- **Resume Play**：前回の操作で最後に再生した曲から再生をはじめます。
- **Play First**：前回の操作で最後に再生したフォルダの最初の曲から再生をはじめます。
- **Rec**：現在選択中のメディアのフォルダに録音をはじめます。保存するフォルダの設定は **System Setting > Rec Folder** で設定できます。

Dual Rec : デュアル録音のバックアップメディアを設定します。

- **Off** : デュアル録音をオフにします。
- **SD1** : バックアップメディアに SD1 を選択します。
- **SD2** : バックアップメディアに SD2 を選択します。
- **USB** : バックアップメディアに USB を選択します。

Relay Rec : リレー録音で録音が引き継がれるメディア (セカンダリーメディア) を設定します。

- **Off** : リレー録音をオフにします。
- **SD1** : セカンダリーメディアに SD1 を選択します。
- **SD2** : セカンダリーメディアに SD2 を選択します。
- **USB** : セカンダリーメディアに USB を選択します。

Rec Level Type : ジョグダイヤルでの録音レベルの選択方法を設定します。

- **Master/Bal** : 左右のチャンネルの入力レベルとバランスの調節をします。
- **SeparateL/R** : 左チャンネルと右チャンネルの入力レベルを個々に調節します。

ALC : ALC (オートレベルコントロール) を設定します。

- **Off (PRESET1/2)** : ALC をオフにします。
- **Mix** : 左右のチャンネルに同じ ALC を設定します。
- **Separate (PRESET3)** : 左チャンネルと右チャンネルに個々に ALC を設定します。

One Touch Rec : REC ボタンの動作を設定します。

- **Off (PRESET1/2)** : REC ボタンを 1 度押すと録音待機し、再度押すと録音を開始します。
- **On (PRESET3)** : REC ボタンを 1 度押すと録音を開始します。

Audio Input : 録音する音声入力ソースを選びます。

- **Bal** : XLR アナログ入力端子のソースを録音します。
- **UnBal** : RCA アナログ入力端子のソースを録音します。
- **AES / EBU** : XLR デジタル入力端子のソースを録音します。
- **Coaxial** : RCA デジタル入力端子のソースを録音します。
- **Dante** : Dante デジタル入力端子のソースを録音します。

Rec Format : 録音する音声方式 (MP3 または PCM) を選びます。

- **Preset 1** : MP3-128 / MP3-64 / PCM-16
- **Preset 2** : MP3-320 / MP3-256 / MP3-192
- **Preset 3** : PCM-24

注 :

- Web Remote を使用して、各プリセットをデフォルトに復元できます。[Current Preset No]を選択し、**Default** を押して **Save** を押します。フロントパネルの **MENU > Preset Setting Preset 1 > Default** でもデフォルトに復元することができます。
- 各ビットレートの値はステレオファイルとして録音した場合を示します。
- MP3 方式ではビットレートを選びます。
- PCM 方式では量子化ビット数を選びます。
- [Sample Rate]が 96k のとき MP3 は選択できません。

Rec Channel : ステレオファイルとして録音をするか、モノラルファイルとして録音をするかを選びます。

- **Stereo** : ステレオ (2 チャンネル) ファイルとして録音します。
- **Mono (L)** : モノラル (左チャンネル) ファイルとして録音します。
- **MonoMix** : ステレオ (2 チャンネル) をミックスし、-3dB したものをファイルとして録音します。

Sample Rate : 録音するサンプリングレートを選びます。

注 : アナログ入力の録音にのみ有効です。

- **44.1k (PRESET1/2)** : 44.1kHz で録音します。
- **48k** : 48kHz で録音します。
- **96k (PRESET3)** : 96kHz で録音します。96k cannot be selected when the "Rec Format" is MP3.
- **Ext (AES)** : 外部クロック (AES/EBU) で録音します。

注 : デジタル入力ソースは、デジタル入力サンプリングレートで録音します。

Pre-Record : 録音待機状態から録音を開始するとき、設定された時間にさかのぼって録音を開始します。

- **Off** : プリ録音をオフにします。
- **1 sec / 2 sec / 3 sec / 4 sec / 5 sec**

Auto Track : 設定した時間ごとに新しいファイルをつくり、録音を続けます。

- **Off** : ファイルを更新せずに録音をします。
- **1 min / 5 min / 10 min / 15 min / 30 min / 1 hour / 2 hour / 6 hour / 8 hour / 12 hour / 24 hour**

注 : 録音しているファイルの容量が 2GB に達すると、自動的に新しいファイルに切り替えて録音を続けます。録音したファイルの容量によっては、ファイルが切り替わるときにわずかな音切れを発生する場合があります。

Auto Mark : [Silent Level]で設定しているレベル未満の入力が、[Silent Time]で設定している時間以上続くとファイルにマーキング情報を書き込みます。

- **Off** : オートマーク機能をオフにします。
- **On** : オートマーク機能をオンにします。

ひとつのファイルに最大 30 個のマークを書き込むことができます。マーキング番号は 1 番から順番に付与します。

Silent Skip : [Silent Level]で設定しているレベル未満の入力が[Silent Time]で設定している時間以上続くと、録音を一時停止します。再び設定値以上のレベルを入力すると、録音を再開します。

- **Off** : サイレントスキップ機能をオフにします。
- **On** : サイレントスキップ機能をオンにします。ディスプレイの S.S 表示が点灯します。

サイレントスキップ機能により録音が一時的に停止状態になっている場合は、ディスプレイの S.S 表示が点滅します。

[Silent Skip]を[On]に設定している場合は、録音待機状態から録音を開始する前に、最大 0.5 秒のプリ録音を追加されます。

Silent level : [Auto Mark]または[Silent Skip]を[On]に設定しているときの無音判定レベルを設定します。(-60dB、-54dB、-38dB、-20dB)

Silent Time : サイレントスキップ録音の無音判定時間を設定します。(1 sec / 2 sec / 3 sec / 4 sec / 5 sec)

Play Range : 曲を再生する範囲を設定します。

- **All** : 全フォルダ内のすべての曲を再生します。
- **Folder** : 選択したフォルダのすべての曲を再生します。

注 : [All]は SD カードと USB 機器の再生時のみ有効です。NET 再生時は[All]を選択しても、[Folder]設定で動作します。

Play Mode : 曲の再生モードを設定します。

- **Continuous** : 選択中のフォルダ内または全フォルダ内 ([Play Range]の設定による) の曲を連続して再生します。
- **Single** : 1 曲のみを再生します。

Random : ランダム再生を設定します。

- **On** : ランダム再生をします。
- **Off** : ランダム再生をしません。

Program : プログラム再生を設定します。

- **On** : 設定した曲順での再生 (プログラム再生) をします。
- **Off** : プログラム再生をしません。

Finish Mode : 再生を停止したときの動作を設定します。

- **Stop** : 再生を停止します。
- **Next** : 再生を停止すると次の曲で待機します。
- **Recue** : 再生を停止するとキューポイントで停止します。

Repeat : リピート再生を設定します。

- **On** : リピート再生をします。
- **Off** : リピート再生をしません。

Auto Cue : オートキュー機能の設定をします。オートキュー機能とは、ファイルの先頭の無音部分をスキップして、再生が始まるポイントで一時停止する機能です。

- **Off** : オートキュー機能をオフにします。
- **- 48dB / - 42dB / - 36dB** : 選んだ曲以降で、音量レベルが設定したレベル未満の区間を飛ばし、一時停止します。

注 : ファイルの先頭の無音部を 20 秒以上経過しても検出できない場合は、ファイルの先頭で一時停止します。

Skip Back : 再生中または一時停止中に設定した時間だけ戻り、再生または一時停止します。

- **0.5 sec / 2 sec / 60 sec** : 再生中の曲を 0.5 - 10 秒までは 0.5 秒刻み、10 - 60 秒までは 5 秒刻みで戻るように設定します。

Search Mode : サーチモードの設定をします。

- **Normal** : 2 倍速サーチでは音声を再生し、それを超える再生スピードでは音声を再生しません。
- **Silent** : サーチ時には音声を再生しません。

Auto Fade In : 再生開始時のフェードイン時間の設定をします。

- **Off** : 機能しません。
- **0.5 sec / 1.0 sec / 3.0 sec** : 設定した時間で音量が徐々に大きくなります。

Auto Fade Out : 再生停止時のフェードアウト時間の設定をします。

- **Off** : 機能しません。
- **0.5 sec / 1.0 sec / 3.0 sec** : 設定した時間で音量が徐々に小さくなります。

Start Delay : 再生を開始するタイミングを設定します。

- **Off** : 機能しません。すぐに再生がはじまります。
- **100 ms / 200 ms / 300 ms** : 設定した時間の間をおいて再生します。

End Of Message : ディスプレイの[EOM]表示の点灯のしかたを設定します。

- **Off** : 機能しません。
- **0 sec** : 曲が終わると 0.5 秒間点滅します。
- **5 sec / 10 sec / 15 sec / 20 sec / 30 sec / 60 sec** : 曲が終わる設定をした時間前から点滅します。

Master Key : ピッチコントロール機能時のマスターキーの設定をします。

- **Off** : 無効にします。
- **On** : 有効にします。

Time Display : 再生と録音時間の表示方法を設定します。

- **HH:MM:SS** : 時 / 分 / 秒で表示します。
- **MMM:SS:FF** : 分 / 秒 / フレームで表示します。

File Sort : ファイルの並び順のソート方法を選びます。

- **Name** : ファイルが記号→数字→アルファベット順に並びます。
- **Date** : ファイルが日付順に並びます。

注 : メディアが[NET]の場合は、ソートできません。ファイルはフォルダ単位でソートされます。

Dimmer : Display Dimmer と LED Dimmer のオン/オフを設定します。

- **Off** : 機能しません。
- **On** : 機能します。

Display Dimmer : ディスプレイの明るさを設定します。

- **100%** : 通常の明るさです。
- **75%** : 通常の 75%の明るさになります。
- **50%** : 通常の 50%の明るさになります。
- **25%** : 通常の 25%の明るさになります。
- **0%** : 動作待機中は消灯、操作時は通常の 25%の明るさになります。

LED Dimmer : LED の明るさを設定します。

- **100%** : 通常の明るさです。
- **75%** : 通常の 75%の明るさになります。
- **50%** : 通常の 50%の明るさになります。
- **25%** : 通常の 25%の明るさになります。

Screen Saver : スクリーンセーバーの設定をします。

- **Off** : 機能しません。
- **On** : 30 分間操作しないと、スクリーンセーバーが機能します。

プリセット名の変更のしかた

プリセットの名前を用途に応じて変更できます。文字は最大 32 文字まで入力できます。

文字の入力のしかた

1. はじめに **Menu > User Preset Sel** から名前を変更するプリセット番号を選んでください。
2. 次に、**Preset Setting > Preset Title** を選んでください。
3. << および >> で文字を挿入する位置にカーソルを合わせる。
4. **ジョグダイヤル** を回して入力する文字を選び、**ENTER** を押します。
5. 手順 3 と 4 をくり返してすべての文字を入力する。
6. **ENTER** を押して変更を保存する。

文字の消去のしかた

1. << および >> で消去する文字の右側にカーソルを合わせる。
2. **FRAME** を押します。お買い上げ時は、プリセット名に 8 文字の名前が付いています。プリセット名を変更するときは、文字を削除してから文字を入力してください。
3. 保存をせずに入力を中止する場合は、保存の前に **BACK** を押してください。

次の文字や記号を入力できます。

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u
v w x y z (space) ! # \$ % & ' () + , - ; = @ [] ^ _ ` « » { } ~ 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ¡ ¢ £ ¤ ¥ ¦ §
¨ © ª « ¬ ® ¯ ° ± ² ³ ´ µ ¶ · ¸ ¹ º » ¼ ½ ¾ ¿ À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î Ï Ñ Ò Ó Ô Õ
Ö × Ø Ù Ú Û Ü Ý Þ ß à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î ï ð ñ ò ó ô õ ö ÷ ø ù ú û ü ý þ ÿ

上記の下線部 ÿ - ý の文字はラテン文字です。

録音

フォルダを選ぶ：System Setting > Rec Folder で[Current]が選択されている場合は、選択したフォルダに録音ファイルを格納します。他のフォルダに格納する場合は、フォルダを選択してください。ただし、Preset Setting > Play Range で[All]が選択されている場合は、ルートにファイルを格納します。System Setting > Rec Folder で[Fixed]が選択されている場合は、ルート直下に固定フォルダを自動作成します。デフォルトフォルダ名は[DMH_REC]です。

注：SD カードに録音する場合は、あらかじめ本機で SD カードのフォーマットをおこなってください。パソコンでフォーマットをおこなったり、お買い上げ時のまま録音をおこなうと、音切れが発生する場合があります。

録音できないメディアは、次のような結果を表示します。

- **No Format**：メディアがフォーマットされていないか対応しているフォーマット以外でフォーマットされています。
- **Write Inhibited**：選択したメディアが書き込み禁止です。
- **Media Full**：録音可能な空き容量が 2MB 以下です。
注：録音可能な空き容量が 2MB 以下になると録音は停止します。
- **Track Full**：ファイルの数が 2000 を超えています。

録音モニター：SHIFT を押しながら COPY を押して録音モニターのオン/オフを切り替えます。録音モニターをオンにすると録音中の（メディアに保存されている最中の）オーディオファイルの音声をオーディオ出力からモニターできます。これは録音ファイルの最終的な録音品質を確認するのに役立ちます。

注：Rec Mon をオンにすると出力から聞こえるオーディオ信号に遅延が生じます。

シグナルパススルーモニター：System Setting > Signal Pass Thru で[On]が選択されている場合は、PresetSetting > Audio Input で選択されている入力信号が出力されます。ヘッドフォンは、[On]または[Off]の設定にかかわらずモニターできます。シグナルパススルーモニターは録音中および録音待機中の音声をモニターします。

録音のしかた

1. **REC** を押します。録音待機状態になり、**REC** が点滅します。**Preset Setting > One Touch Rec** で[On]が選択されている場合は、**REC** 押すとすぐに録音を開始します。
2. 録音レベルと録音バランスを調節します。**System Setting > Volume Input** で[Variable]を選択してください。入力レベルが調節できるのは **Preset Setting** の **ALC** が[Off]で、**Preset Setting** の **Audio Input** で[Bal]または[UnBal]の設定のときのみです。
3. **Preset Setting > Rec Level Type** を選択します。
 - **Master/Bal** : ジョグダイヤルで入力レベルを調節できます。また、**SHIFT** を押しながら**ジョグダイヤル**で左右のチャンネルの入力レベルバランスを調節できます。
 - **Separate L/R** : ジョグダイヤルで左チャンネルの入力レベルを調節できます。また、**SHIFT** を押しながら**ジョグダイヤル**で右チャンネルの入力レベルを調節できます。
4. **REC** を押して録音を開始します。
 - **プリ録音** : **Preset Setting > Pre Record** でプリ録音時間が設定されていると、録音を開始した時間から設定された時間にさかのぼって録音します。
 - 録音中に **PAUSE** を押して録音を一時的に停止します。もう一度 **REC** を押すと、同じファイルに録音を再開します。
 - プリセットメニューの[**Auto Mark**]で[On]が選択されている場合、録音待機の状態から録音を再開すると録音を再開したところにマークが付きます。
 - 録音を保存するディレクトリがルートディレクトリの場合は、**FAT16** の条件によりフォルダ数とファイル数の総数が512になります。
5. **STOP** を押して録音を停止します。 **PLAY** を押すと録音したファイルをすぐ再生できます。

デュアル録音 : 選択されているメディアとバックアップするメディアを同時に録音できます。

1. メディアを選択します。
2. バックアップメディアを選択します。**Preset Setting** の[**Dual Rec**]と[**Relay Rec**]の両方を選択している場合は、デュアル録音を優先します。
3. 通常の録音と同じ操作で録音を開始します。選択されたメディアとバックアップするメディアが同時に録音を開始します。
 - バックアップメディアのファイルは **System Setting > Date Form** で作られたフォルダに保存されます。
 - 録音中、選択したメディアが先に空き容量がなくなった場合、選択したメディアとバックアップするメディアの両方の録音を停止します。
 - 録音中、バックアップするメディアが先に空き容量がなくなった場合、バックアップするメディアの録音を停止し、選択したメディアは録音を継続します。
 - 選択したメディアとバックアップするメディアが同一メディアの場合、デュアル録音がキャンセルされ、通常録音で録音を開始します。
 - 録音モニターがオンのときは、選択されているメディアのみが通常録音を開始します。

リレー録音：最初に選択されているメディアに録音して、そのメディアの空きが2MB 以下になったら録音を停止し、セカンダリーメディア（録音が引き継がれるメディア）の録音を開始します。

1. 現在録音するメディアを選びます。
2. セカンダリーメディアを選びます。**Preset Setting** の[Dual Rec]と[Relay Rec]の両方を選択している場合は、デュアル録音を優先します。
3. 通常の録音と同じ操作で録音を開始します。選択されているメディアが先に録音を開始します。リレーメディアのファイルは **System Setting > Date Form** で作られたフォルダに保存されます。
 - 選択されているメディアの録音が終了したらセカンダリーメディアの録音を開始します。
 - セカンダリーメディアの録音が終了したら録音を停止しリレー録音を終了します。
 - 選択したメディアとセカンダリーメディアが同一メディアの場合、リレー録音がキャンセルされ、通常録音で録音を開始します。

タイマー録音：指定時間から、設定時間録音をおこないます。録音開始時間指定（スケジュールタイプ）は、曜日と時間指定および日時指定が可能です。録音タイマーは最大 30 個まで設定できます。

録音タイマーリストメニューの一覧

Edit	タイマー情報を入力または編集します。
Insert	選択しているタイマーの前に、新たなタイマー情報を入力します。
Clear	選択しているタイマー情報を消去します。
All Clear	すべてのタイマー情報を消去します。
Timer On	選択しているタイマーをオンにします。
Timer Off	選択しているタイマーをオフにします。

タイマー録音開始時間と録音時間の設定

1. 停止中に **MENU** を押します。メニュー一覧を表示します。
2. **ジョグダイヤル**を回して[Rec Timer]を選び **ENTER** を押します。録音タイマーリストを表示します。
3. **ジョグダイヤル**を回して[Empty]を選び、**ENTER** を押します。録音タイマーリストメニューを表示します。
4. **ジョグダイヤル**を回して[Edit]を選び、**ENTER** を押します。録音スケジュールタイプを表示します。
5. **ジョグダイヤル**を回してスケジュールタイプを選び、**ENTER** を押します。
録音開始スケジュールタイプは次のとおりです。
 - **Day of Week** : 曜日と時間で指定するタイプです。
 - **Date Time** : 日時で指定するタイプです。
6. [Day of Week]で入力する場合
 - i. **ジョグダイヤル**を回して入力位置を選び **ENTER** を押します。
 - ii. **ジョグダイヤル**を回して録音したい曜日を選び **ENTER** を押します。選択された曜日の先頭にチェックマークを表示します。
 - iii. 曜日の選択が終了したら**ジョグダイヤル**を回して[Exit]を選び、**ENTER** を押します。録音開始スケジュールが確定します。複数の曜日を選択するときは、繰り返し選択してください。
7. [Date Time]で入力する場合
 - i. **ジョグダイヤル**を回して入力位置を選び **ENTER** を押します。
 - ii. **ジョグダイヤル**を回して録音したい「年」を選び、**ENTER** を押します。
 - iii. **ジョグダイヤル**を回して録音したい「月」を選び、**ENTER** を押します。
 - iv. **ジョグダイヤル**を回して録音したい「日」を選び、**ENTER** を押します。録音開始スケジュールが確定します。

注 : 日付の表示順 (年 / 月 / 日) は **System Setting > Date Form** で選択できます。
8. **ジョグダイヤル**を回して録音開始時間 (時 / 分) あるいは 1 時間ごとに録音をおこなう [EveryHour]を選び、**ENTER** を押します。

注 : 現在時刻の表示タイプ (12 時間表示 / 24 時間表示) は、**System Setting > Time Form** の設定で選べます。
9. **ジョグダイヤル**を回して録音時間 (時 / 分) を選び **ENTER** を押します。

注 : 録音時間は 99 時間 59 分まで設定できます。
10. ユーザーエリアに記録したい情報を入力します。これはファイル作成時にファイル名のユーザー領域に含まれるものです。ファイル名には、デバイス名、録音開始日時、ユーザー領域データが含まれます。

タイマー録音をオン / オフする

1. 録音タイマーリストで、**ジョグダイヤル**を回してオンまたはオフしたい録音タイマーを選び、**ENTER** を押します。
2. **ジョグダイヤル**を回して[Timer On]または[Timer Off]を選び、**ENTER** を押します。

タイマー録音情報を編集する

録音タイマーリストで、**ジョグダイヤル**を回して編集したい録音タイマーを選び、**ENTER** を押します。録音タイマーリストメニューを表示します

選択した録音タイマーの録音開始時間および録音時間を変更する場合

ジョグダイヤルを回して[Edit]を選び、**ENTER** を押します。

選択した録音タイマーの前に新たな録音タイマーを挿入する場合

ジョグダイヤルを回して[Insert]を選び、**ENTER** を押します。録音タイマーが 30 個を超えると、最後のタイマーデータが上書きされます。

選択した録音タイマーを消去する場合

1. **ジョグダイヤル**を回して[Clear]を選び、**ENTER** を押します。
2. **ジョグダイヤル**を回して[OK]を選び、**ENTER** を押します。選択した録音タイマーが消去され、録音タイマーリストを表示します。

すべての録音タイマーを消去する場合

1. **ジョグダイヤル**を回して[All Clear]を選び **ENTER** を押します。
2. **ジョグダイヤル**を回して[OK]を選び、**ENTER** を押します。すべての録音タイマーが消去され、録音タイマーリストを表示します。

録音中にできること

録音中にファイルを追加する (マニュアルトラック)

マニュアルトラック機能は、録音中の任意の位置でファイルを区切る機能です。録音は新しいファイルに続けておこないます。録音中に **DIVIDE** または **REC** を押します。押したところでファイルを区切り、新しいファイルに録音を続けます。ファイルを一定時間で区切ることもできます。

注：ファイルの容量によっては、ファイルが切り替わる時にわずかな音切れを発生する場合があります。

録音しているファイルの容量が 2GB に達すると、自動的に新しいファイルに切り替えて録音を続けます。録音開始から 2 秒以内のマニュアルトラックはおこなうことができません。

マークを追加する (マーキング)

ファイルにマーキング情報を書き込むことにより、再生するときにマークを検索して特定の場所から再生を始めることができます。この方法を使うとファイルを分けずに、ファイルの中に特定の検索ポイントを作ることができます。録音中に **SHIFT** を押しながら **MARK** を押したところにマークを追加します。

- ひとつのファイルに最大 30 個のマークを書き込むことができます。
- マークは自動的に付けることができます。

サイレントスキップ録音

録音開始時、録音中に無音部分を検出して、録音を一時停止させることができます。

- **Preset Setting > Silent Skip** を[On]に設定する。
- **Preset Setting > Silent Level** で無音判定レベルを設定する。
- **Preset Setting > Silent Time** で無音判定時間を設定する。

録音入力レベルが[Silent Level]で選択されているレベルより小さいレベルで、[Silent Time]で選択されている時間を継続して超えた場合、メディアへの記録を一時停止し S.S 表示を点滅表示します。その後、[Silent Level]で選択したレベルを超える録音入力レベルを検出すると、再び録音を開始します。このとき **Preset Setting > Pre Record** が設定されている場合は、プリ録音が動作します。**Preset Setting > Auto Mark** が[On]のとき、録音開始時にマークが記録されます。

再生

メディアリストから選ぶ

1. **ON/STANDBY** を押します。停止中に **SHIFT** を押しながら **MEDIA** を押します。
2. 停止中に **LIST** を押します。
3. ファイルを選び **PLAY** を押します。

再生を一時的に停止する場合は再生中に **PAUSE** を押します。**PLAY** を押すと、再生を再開します。再生を停止する場合は **STOP** を押します。

注：**Preset Setting > Finish Mode** で[Next]設定時、再生中に **STOP** を押すと、次のファイルの先頭に移動して停止をします。**Preset Setting > Finish Mode** で[Recue]設定時、再生中に **STOP** を押すと、**PLAY** を押した位置に戻って停止をします。

注：本機は VBR (Variable Bit Rate) 形式のファイルを再生できます。VBR (Variable Bit Rate) 形式のファイルを再生しているときの残り時間表示は、おおまかな時間になります。

再生中にできること

ファイルを切り替える

再生中や停止中に**ジョグダイヤル**を回す。時計方向に回すと、次のファイルに切り替わります。反時計方向に回すと、現在のファイルの先頭や前のファイルに切り替わります。

早送りや早戻しをする (サーチ)

- 再生中や停止中に << または >> を押します。
- << を押すと早戻し再生をします。
- >> を押すと早送り再生をします。

押すたびに、サーチの速度が切り替わります。

2 倍速は、**Preset Setting > Search Mode** で[Silent]を選択すると音声を出しません。

早送りで最後のファイルの終わりまで、早戻しで最初のファイルの先頭までサーチしたときは、一時停止になります。

注：VBR で記録されたファイルは、サーチできません。サーチ途中のファイルに VBR のファイルがある場合は、VBR のファイルでサーチを終了します。

早送り、早戻し (サーチ) の終了のしかた

サーチ中に **PLAY** または **PAUSE** を押します。PLAY を押すと、サーチ終了位置から再生します。PAUSE を押すと、サーチ終了位置に一時停止します。

フレーム単位でジャンプする (フレームジャンプ)

- 再生中、キュー中または一時停止中にメイン画面上で **FRAME** を押すと Audible Pause 状態になります。
- << または >> を押すか、または**ジョグダイヤル**を回します。<< を押すと逆方向に 1 フレーム移動します。>> を押すと順方向に 1 フレーム移動します。ジョグダイヤルを回すと、1 クリックあたり 1 フレーム移動します。

FRAME を押すとフレームサーチモードが解除し、再生一時停止状態になります。

注：1 フレームは、1/75 秒です。

一定時間戻って再生する (スキップバック)

再生中または一時停止中に現在の再生位置から設定している時間だけ戻り、再生または一時停止します。Web Remote および Serial Remote で操作できます。時間の設定は、**Preset Setting > Skip Back** で設定してください。

注：

- スキップバックは、本体ボタンでは操作できません。
- VBR で記録されたファイルは、スキップバックできません。

再生のピッチを調節する (ピッチコントロール)

再生速度を±16%の範囲で調節できます。

1. 停止中、キュー中または再生中に、**SHIFT** を押しながら **PITCH** を押します。ピッチの調節が有効になります。
2. **SHIFT** を押しながら **PITCH +** または **PITCH -** を押します。1 回押すごとにピッチが 0.1%変化します。

ピッチコントロールを解除する場合は、もう一度 **SHIFT** を押しながら **PITCH** を押ししてください。

ピッチコントロールで再生速度を調節すると、再生速度に伴って音程が変わります。

マスターキー機能をオンにすると、ピッチを調節しても再生音の音程を変えずに再生できます。

マークを追加する (マーキング)

再生中や一時停止中に、**SHIFT** を押しながら **MARK** を押します。押したところにマークを追加します。追加すると [Mark z] (z: マークの数) を表示します。

ひとつのファイルには最大 30 個のマークを書き込めます。

注: 本機で録音されていない MP3 ファイルにはマークを追加することができません。ファイルが VBR で記録されている場合、マークを追加することはできません。

マークを検索する

停止中、キュー中または再生中に、**SHIFT** を押しながら **MARK +** または **MARK -** を押します。

MARK + を押すと、次のマーク位置に進み一時停止します。

MARK - を押すと、前のマーク位置に戻り一時停止します。

マークを検索できるのは、現在のファイル内に限ります。

ランダム再生

Preset Setting > Random を [On] に設定する。

PLAY を押します。トラックをランダム選択し、再生を開始します。

プログラム再生をおこなう

最大 99 個のファイルをプログラム再生できます。プログラムはメディアに保存し、後で読み込んで使うことができます。詳しくは **プログラムリスト** の章をご参照ください。

Edit	タイマー情報を入力、または編集します。
Insert	選択しているタイマーの前に新たなタイマー情報を入力します。
Clear	選択しているタイマー情報を消去します。
All Clear	すべてのタイマー情報を消去します。
Timer On	選択しているタイマーをオンします。
Timer Off	選択しているタイマーをオフします。

タイマー再生開始時間と再生ファイルの設定

1. 停止中に **MENU** を押します。メニュー一覧を表示します。
2. **ジョグダイヤル**を回して**[Play Timer]**を選び **ENTER** を押します。再生タイマーリストを表示します。
3. **ジョグダイヤル**を回してタイマー再生させるファイルを選び、**ENTER** を押します。タイマーの設定が完了すると、設定されたタイマーはオンになります。

タイマー再生をオン / オフする

1. 再生タイマーリストで、**ジョグダイヤル**を回してオンまたはオフしたい再生タイマーを選び、**ENTER** を押します。再生タイマーリストメニューを表示します。
2. **ジョグダイヤル**を回して**[Timer On]**または**[Timer Off]**を選び、**ENTER** を押します。再生タイマーリストを表示します。

タイマー再生情報を編集する

再生タイマーリストで、**ジョグダイヤル**を回して編集したい再生タイマーを選び、**ENTER** を押します。

選択した再生タイマーの録音開始時間および再生時間を変更する場合

ジョグダイヤルを回して**[Edit]**を選び、**ENTER** を押します。

選択した再生タイマーの前に新たな再生タイマーを挿入する場合

ジョグダイヤルを回して**[Insert]**を選び、**ENTER** を押します。最後のタイマーデータが消去されます。

選択した再生タイマーを消去する場合

1. **ジョグダイヤル**を回して**[Clear]**を選び、**ENTER** を押します。**[Clear?]**を表示します。
2. **ジョグダイヤル**を回して**[OK]**を選び、**ENTER** を押します。選択した再生タイマーが消去され、再生タイマーリストを表示します。

すべての再生タイマーを消去する場合

1. ジョグダイヤルを回して[All Clear]を選び ENTER を押します。[All Clear?]を表示します。
2. ジョグダイヤルを回して[OK]を選び、ENTER を押します。すべての再生タイマーが消去され、再生タイマーリストを表示します。
編集を中止するときは BACK を押してください。

タイマー再生をおこなう

1. タイマー再生情報を設定するとタイマーがオンします。
2. 選択しているメディアにタイマー再生するメディアを装着します。System Setting > Timer Priority の設定より、タイマー再生の優先度を設定できます。ただし、メニューやファイルリストなどを表示しているとき、録音状態のときは、タイマー動作はおこなえません。
3. スタンバイ状態のときも、電源を投入し再生を開始します。タイマー再生中に他の操作をおこなうと、タイマー再生を解除します。

プログラムリストメニューの一覧

Preview	選択したファイルを試聴します。
Insert	プログラムを入力します。または、選択しているプログラムの前に、新たなプログラムを入力します。
Remove	選択したプログラムを消去します。
Remove All	すべてのプログラムを消去します。
Load	選択しているメディア上のプログラムを読み込みます。
Save	選択しているメディア上にプログラムを記憶します。

プログラムを作成する

1. 停止中またはキュー中に MENU を押します。メニュー一覧を表示します。
2. ジョグダイヤルを回して[Program List]を選び ENTER を押します。プログラムリストを表示します。
3. ジョグダイヤルを回して[Empty]を選び、ENTER を押します。プログラムリストメニューを表示します。
4. ジョグダイヤルを回して[Insert]を選び、ENTER を押します。ファイルリストを表示します。
5. ジョグダイヤルを回してプログラムしたいファイルを選び、ENTER を押します。
6. ジョグダイヤルを回して[Execute]を選び、ENTER を押します。プログラムが確定します。
7. ジョグダイヤルを回して[Preview]を選び、ENTER を押します。選択したファイルの試聴再生を開始します。
8. STOP を押すと再生を終了します。

プログラムしたファイルの試聴のしかた

1. プログラムリストメニューでプログラムしたファイルにカーソルを当て、**ENTER** を押します。プログラムリストメニューを表示します。
2. **ジョグダイヤル**を回して**[Preview]**を選び、**ENTER** を押します。選択したファイルの試聴再生を開始します。
3. **STOP** を押すと再生を終了し、プログラムリストメニューに戻ります。

プログラム再生をおこなう

1. **Preset Setting > Program** を**[On]**に設定する。
2. **PLAY** を押します。作成したプログラム順に再生します。***プログラムが設定されていない場合、通常再生になります。

プログラム / プレイレンジ / ランダム設定の関係

Program	Random	Play Range	再生内容
On	Off	-	設定した曲順でプログラム再生します。
On	On	-	プログラム内でランダム再生します。
Off	Off	All	ルートフォルダからサブフォルダごとに、 PresetSetting>FileSort に従った順に全フォルダ内のすべての曲を再生します。
Off	On	All	全ファイル内でランダム再生します。
Off	Off	Folder	選択したフォルダのすべての曲を再生します。
Off	On	Folder	選択したフォルダ内でランダム再生します。

プログラムを編集する

1. プログラムリストで**ジョグダイヤル**を回してプログラムを挿入したい次のプログラムにカーソルを当て、**ENTER** を押します。プログラムリストメニューを表示します。
2. **ジョグダイヤル**を回して**[Insert]**を選び、**ENTER** を押します。ファイルリストを表示します。プログラムが 99 を超えると、最後のプログラムが消去されます。

選択したプログラムファイルを消去する

1. プログラムリストで**ジョグダイヤル**を回して消去したいプログラムファイルにカーソルを当て、**ENTER** を押します。プログラムリストメニューを表示します。
2. **ジョグダイヤル**を回して**[Remove]**を選び **ENTER** を押します。
3. **ジョグダイヤル**を回して**[OK]**を選び、**ENTER** を押します。選択したプログラムファイルが消去され、プログラムリストを表示します。

すべてのプログラムファイルを消去する

1. プログラムリストで **ENTER** を押します。プログラムリストメニューを表示します。
2. **ジョグダイヤル**を回して**[Remove All]**を選び **ENTER** を押します。
3. **ジョグダイヤル**を回して**[OK]**を選び、**ENTER** を押します。すべてのプログラムファイルが消去され、プログラムリストを表示します。編集を中止するときは **BACK** を押してください。

プログラムデータの保存する

1. プログラムリストで **ENTER** を押します。プログラムリストメニューを表示します。
2. **ジョグダイヤル**を回して**[Save]**を選び、**ENTER** を押します。
3. **ジョグダイヤル**を回してファイルをセーブしたいフォルダ**[Save Here?]**を選び、**ENTER** を押します。
4. **ジョグダイヤル**を回して**[OK]**を選び、**ENTER** を押します。
5. 保存するプログラムのファイル名を入力し **ENTER** を押します。指定されたフォルダにプログラムが保存され、プログラムリストを表示します。

プログラムを選択したメディアから読み込む

1. プログラムリストで **ENTER** を押します。プログラムリストメニューを表示します。
2. **ジョグダイヤル**を回して**[Load]**を選び、**ENTER** を押します。
3. **ジョグダイヤル**を回して読み込むファイルを選び、**ENTER** を押します。
4. **ジョグダイヤル**を回して**[OK]**を選び、**ENTER** を押します。読み込んだプログラムをプログラムリストに表示します。

タイマー再生

- 指定時間から、設定ファイルの再生をおこないます。
- 録音開始時間指定 (スケジュールタイプ) は、曜日と時間指定および日時指定が可能です。
- 再生タイマーは最大 30 個まで設定できます。

ホットスタート

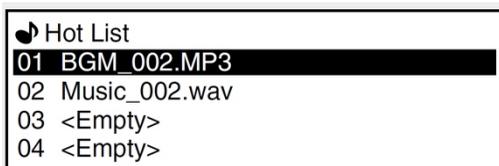
Web Remote、シリアルコマンドを用いた機器から制御できます。ボタンが押されたとき、あらかじめ選択したファイルを瞬時に再生開始する機能です。20 曲のホットスタートを設定できます。

ホットリストメニューの一覧

Preview	選択したファイルを試聴します。
Auto Mapping	20 曲のホットリストを自動設定します。
Set	ホットリストを設定します。または、選択しているホットリストを再設定します。
Remove	選択しているホットリストを消去します。
Remove All	すべてのホットリストを消去します。
Load	選択しているメディア上のホットリストを読み込みます。
Save	選択しているメディア上にホットリストを記憶します。

ホットスタートリストへ曲を登録する

1. 停止中またはキュー中に **MENU** を押します。
2. **ジョグダイヤル**を回して[Hot List]を選び **ENTER** を押します。
3. **ジョグダイヤル**を回して[Empty]を選び、**ENTER** を押します。
4. **ジョグダイヤル**を回して[Set]を選び、**ENTER** を押します。
5. **ジョグダイヤル**を回してホットスタートしたいファイルを選び、**ENTER** を押します。
6. **ジョグダイヤル**を回して[Execute]を選び、**ENTER** を押します。ホットスタートが確定します。



ホットスタートリストに登録したファイルの試聴

1. **MENU** を押して**ジョグダイヤル**を回して[Preview]を選び **ENTER** を押します。選択したファイルの試聴再生を開始します。
2. **STOP** を押すと再生を終了します。

ホットスタートリストへ曲を自動登録する

MENU を押して**ジョグダイヤル**を回して[Auto Mapping]を選び、**ENTER** を押します。20 曲のホットリストを自動登録します。Preset Setting > Play Range の設定に従って、先頭ファイルから順に登録します。

ホットスタートリストに登録したファイルの試聴のしかた

1. ホットスタートリストでホットスタートしたファイルにカーソルを当て、**ENTER** を押します。ホットリストメニューを表示します。
2. **ジョグダイヤル**を回して**[Preview]**を選び、**ENTER** を押します。選択したファイルの試聴再生を開始します。
3. **STOP** を押すと再生を終了し、ホットスタートリストに戻ります。

ホットリストのデータの保存

1. **MENU** を押して**ジョグダイヤル**を回して**[Hot List]**を選び、**ENTER** を押します。
2. ホットリストメニューで**ジョグダイヤル**を回して**[Save]**を選び、**ENTER**を押します。
3. **ジョグダイヤル**を回してホットリストをセーブするメディアとフォルダで**[Save Here?]**を選び、**ENTER**を押します。**[Save?]**を表示します。
4. **ジョグダイヤル**を回して**[OK]**を選び、**ENTER**を押します。
5. 保存するホットリストのファイル名を入力し**ENTER**を押します。

ホットリストのデータの読み込み

1. **MENU** を押して**ジョグダイヤル**を回して**[Hot List]**を選び、**ENTER** を押します。
2. ホットリストで**ENTER** を押します。ホットリストメニューを表示します。
3. **ジョグダイヤル**を回して**[Load]**を選び、**ENTER** を押します。ホットリストを表示します。
4. **ジョグダイヤル**を回して読み込むホットリストを選び、**ENTER** を押します。**[Load?]**を表示します。
5. **ジョグダイヤル**を回して**[OK]**を選び、**ENTER** を押します。

ホットリストファイルを消去する

1. **MENU** を押します。
2. **ジョグダイヤル**を回して**[Hot List]**を選び **ENTER** を押します。
3. ホットリストメニューで**ジョグダイヤル**を回して消去したいホットリストにカーソルを当て、**ENTER**を押します。ホットリストメニューを表示します。
4. **ジョグダイヤル**を回して**[Remove]**を選び**ENTER**を押します。**[Remove]**を表示します。
5. **ジョグダイヤル**を回して**[OK]**を選び、**ENTER**を押します。選択されたホットリストが消去されます。

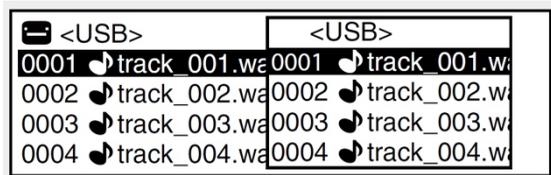
すべてのホットリストを消去する

1. **MENU** を押します。
2. **ジョグダイヤル**を回して**[Hot List]**を選び **ENTER** を押します。ホットリストメニューを表示します。
3. **ジョグダイヤル**を回して**[Remove All]**を選び **ENTER** を押します。**[Remove All?]**を表示します。
注：中止するときは BACK を押してください。
4. **ジョグダイヤル**を回して**[OK]**を選び、**ENTER** を押します。すべてのホットリストが消去されます。

結合 (COMBINE)

同一メディア内で選択したファイルと
もう 1 つのファイルを結合し、新たな
ファイルを生成します。

1. 結合元のファイルで停止中、キュー中または一時停止中に **COMBINE** を押します。
2. **ジョグダイヤル**を回して結合先のファイルを選び、**ENTER** を押します。



結合して作成されたファイルのファイル名は、録音と同じルールで作成されます。他のメディア内のファイルとの連結はできません。結合中は[Executing...zzz%] (z: 進捗状況) を表示します。結合が完了すると[Completed.]を表示します。[Cancel]を選択して **ENTER** を押すと、結合を中止します。結合したファイルは、結合元のフォルダに格納されます。結合前のファイルはそのまま保持されます。

- 次の場合は結合できません。
- 選択したメディアが書き込み禁止
- 選択したメディアに空き容量がない
- ファイルサイズは最大 2GB
- ファイルが WAV 以外
- 総ファイル数が 2000 に達している
- ビット数が異なる
- チャンネル数が異なる
- サンプリングレートが異なる

分割 (DIVIDE)

選択したファイルを現在の再生または録音位置で、2 つのファイルに分割します。分割前のファイルはそのまま保持されます。

1. 再生中、キュー中または一時停止中に **DIVIDE** を押します。[Divide?]を表示します。
2. **ジョグダイヤル**を回して[OK]を選び、**ENTER** を押します。分割を開始します。

分割中は[Executing...zzz%] (z: 進捗状況) を表示します。分割が完了すると[Completed]を表示します。[Cancel]を選択して **ENTER** を押しますと、分割を中止します。

分割した前半のファイルは、元のファイル名に[_A]を追加します (例: aaa.mp3 の場合 → aaa_A.mp3)。分割した後半のファイルは、元のファイル名に[_B]を追加します (例: aaa.mp3 の場合 → aaa_B.mp3)。

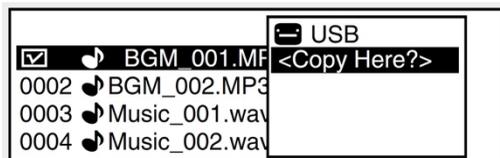
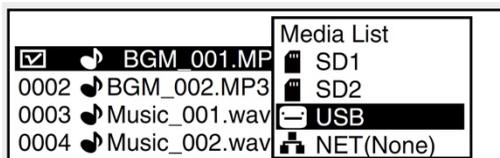
次の場合は分割できません：

- 選択したメディアが書き込み禁止
- ファイルの始点または終点
- ファイルが WAV、MP3 以外
- ファイル数が 1999 に達している
- 選択したメディアに空き容量がない
- 分割後のファイル名がすでに存在する

コピー (COPY)

選択したファイルを同一または他のメディアのフォルダに移動します。

1. コピーしたいファイルで停止中、キュー中または一時停止中に **COPY** を押します。コピー先を決めるためのメディアリストを表示します。
2. **ジョグダイヤル**を回してコピー先になるメディアを選び、**ENTER** を押します。フォルダリストを表示します。
3. **ジョグダイヤル**を回してコピー先になるフォルダ階層の[Copy Here?]を選び、**ENTER** を押します。コピーを開始します。
コピー中は[Executing...zzz%] (z : 進捗状況) を表示します。コピーが完了すると[Completed]を表示します。**[Cancel]**を選択して **ENTER** を押すと、コピーを中止します。



次の場合はコピーできません：

- メディアが書き込み禁止
- メディアの空き容量がない

移動 (MOVE)

選択したファイルを同一または他のメディアのフォルダに移動します。

1. 移動したいファイルで停止中、キュー中または一時停止中に **MOVE** を押します。移動先を決めるメディアリストを表示します。
2. 移動先になるメディアを選び、**ENTER** を押します。フォルダリストを表示します。
3. **ジョグダイヤル**を回して移動先になるフォルダ階層の[Move Here?]を選び、**ENTER** を押します。移動を開始します。

移動中は[Executing...zzz%] (z : 進捗状況) を表示します。移動が完了すると[Completed]を表示します。**[Cancel]**を選択して **ENTER** を押すと、移動を中止します。

- 次の場合は他のメディアに移動できません。
- メディアが書き込み禁止
- メディアの空き容量がない

元に戻す (UNDO)

直前におこなわれた編集操作を元に戻します。

結合 (COMBINE)、分割 (DIVIDE)、コピー (COPY)、移動 (MOVE)、ファイル名とフォルダ名の変更 (Rename)で、[UNDO]ができます。

1. 編集直後に **UNDO** を押します。[Undo?]を表示します。
2. **ジョグダイヤル**を回して**[OK]**を選び、**ENTER** を押します。完了すると[Completed]を表示します。

注：編集を[UNDO]でキャンセルした場合は、[UNDO]前の状態に戻すことはできません。

ネットワークに接続する

DHCP機能を持つネットワークに接続すると、IPアドレスなどDN-900Rの設定が自動的におこなわれます。DHCP 機能のないネットワークに本機を接続してお使いになる場合は、メニューのシステム設定 (**System Setting**) で、IP アドレスやDNSサーバーなどの設定をおこなってください。

注：手動で設定する場合は、設定内容をネットワーク管理者に確認してください。

必要なシステム

- **ブロードバンドインターネット接続** (NTPタイムサーバーに接続する場合にのみ必要)
- **ルータ**：DHCPサーバー内蔵および100BASE-TXスイッチを備えたルータの使用をお勧めします。複数のデバイスを接続する場合、100Mbps以上の速度のスイッチングハブをお勧めします。
- **イーサネットケーブル (CAT-5 以上を推奨)**：STP タイプまたは ScTP タイプのシールド LAN ケーブルをお使いください。

インターネットサービスがネットワーク設定が手動またはDHCP機能なしでおこなわれる場合は、ネットワーク設定 (**Network Setup**) メニューから直接設定します。ネットワーク設定を手動で設定する場合は、ネットワーク管理者に確認してください。

DN-900RからのイーサネットケーブルをコンピュータのLANポート/イーサネットコネクタに直接接続しないでください。DHCP機能のないネットワークに本機を接続してお使いになる場合は、メニューのシステム設定 (**System Setting**) で設定をおこなってください。

静的ネットワーク接続での手動設定 (DHCP=Off)

1. シールドタイプのイーサネットケーブルを接続します。フラットタイプのケーブルやシールドされていないケーブルをご使用になると、ノイズが他の機器に影響を及ぼす可能性があります。
2. 本機の電源をオンにします。
3. **MENU** を押します。メニュー一覧を表示します。
4. **ジョグダイヤル**を回して[**System Setting**]を選び、**ENTER** を押します。
5. [IP Address]を[**Static**]に設定します。現在設定されている IP アドレスを表示します。
6. 適切な IP アドレスを指定してください。ジョグダイヤル、Search + および Search - を使用してカーソルを移動します。**FRAME** を押すと、1 つ前に入力した数字を削除できます。設定を解除する場合は **BACK** を押してください。
7. 入力が完了したら、**ENTER** を押します。**System Setting** メニューに戻ります。

同様に、[Subnet Mask]、[Gateway]、[DNS Server]にアドレスを入力するネットワークの設定が完了したら、**MENU** を押します。本機が自動的に再起動します。

Dante 接続

DN-900R は専用の Dante ネットワークへ接続できます。Dante ネットワークは、レコーディングスタジオ、ライブサウンド、プロフェッショナルオーディオに使用されます。

Dante Controller ソフトウェアを使用すると、Dante ネットワーク上でオーディオのルーティングやデバイスの構成が可能です。audinate.com から入手できます。

Dante Controller の機能に関するフルリストは以下から入手できます：

audinate.com/products/software/dante-controller

注：Dante Controller で[Identify Device]機能  が有効になっている場合、DN-900R は[Dante Locate]というメッセージを表示します。

Utility > Dante Status で以下が表示されます。

- デバイス名 (Device name)
- IP/マスク (IP/Mask)
- MAC アドレス (MAC Address)
- ストリーミング状況 (Streaming Status)

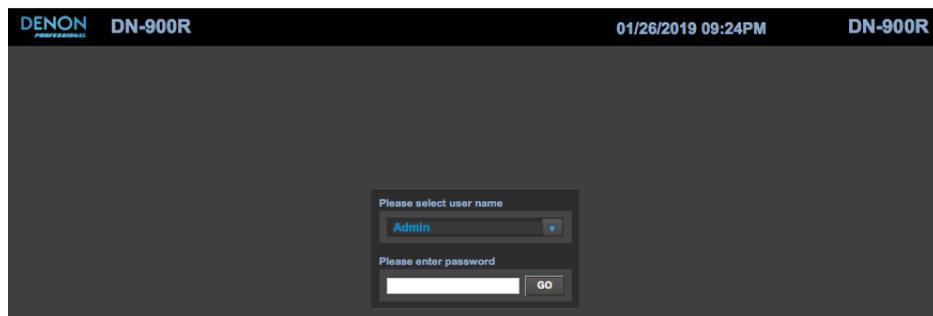
System Setting > Dante Reset で、Dante デバイスをファクトリーリセットできます。

Web Remote

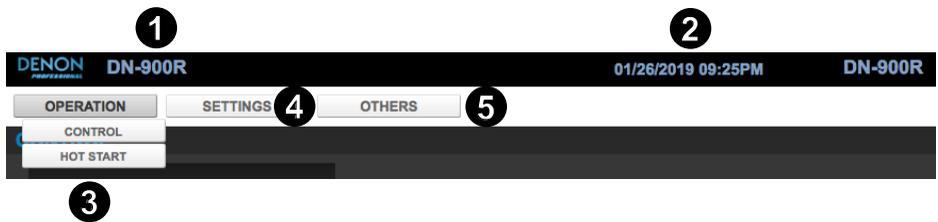
DN-900Rはウェブブラウザアプリケーションに対応しています。Web Remoteアプリケーションを使うと、お使いのコンピュータから本機のコントロールや設定ができます。

DN-900R の Web Remote に接続するために、ウェブブラウザを立ち上げ、ブラウザのアドレスに本機の IP アドレスを入力します。IP アドレスは **Menu > Utility > Network Status** で確認できます。

パスワード



1. アプリケーションを起動してパスワード画面にパスワードを入力すると、Web Remote に進むことができます。プリセットメニューでパスワードを設定していると、パスワード画面を表示します (Admin Passwd)。プリセットメニューでパスワードを設定していない場合は、直接コントロール画面に進みます。
 - パスワードで使用できる文字は英字の大文字 / 小文字、英数字および記号です。
 - パスワードの文字数は、6 文字以上 12 文字以下です。
2. ユーザー名を選び、[Password]テキストボックスにパスワードを入力する
3. [Go]をクリックする。



Web Remote 起動時に最初に表示される画面です。

スクリーンの内容：

1. **機種名**：接続されたデバイスの名称を表示します。
2. **時間情報表示**：機種由来の現在時刻を表示します。
3. **OPERATION**：CONTROLおよびHOT STARTオプションを表示します。
4. **SETTING SCREEN**：Preset Setting、Archive Setting、Rec Timer、Play Timer、Program、System Settingのオプションを表示します。
5. **OTHERS**：UTILITYメニューのオプションを表示します。

ユーザーID と操作権限

ユーザーID は 3 種類あり、ID により操作権限が異なります。

[System Setting]により、それぞれのユーザーID にパスワードを設定できます。

User ID	Admin	Operator	Observer
Password	Admin Passwd	Operator Passwd	Observer Passwd
状態や設定の参照	Yes	Yes	Yes
Control 操作	Yes	Yes	No
Hot start 操作	Yes	Yes	No
Preset setting 操作	Yes	Yes	No
Archive setting 操作	Yes	Yes	No
Record timer 操作	Yes	Yes	No
Play timer 操作	Yes	Yes	No
Program 操作	Yes	Yes	No
Utility 操作	Yes	Yes	No
System Setting 操作	Yes	No	No
Login user 一覧	Yes	No	No

コントロール画面

DENON PROFESSIONAL DN-900R 01/26/2019 09:27PM DN-900R

OPERATION SETTINGS OTHERS

CONTROL

Elapsed Time

M.TRACK I◀ M ▶ MARK

◀◀ ▶▶ ◀▶ ▶◀ ↺

● ■ ⏸ ▶

9

10

Rec Setting

Rec Level - Master 0dB

Rec Level - Balance 0dB

REC MON

2

Track List

Media SD1

1

#	Track	Size(KB)	Path
0001	♪01012019000959_DN-90	6482 /	
0002	♪01012019003431_DN-90	40369 /	
0003	♪01012019005216_DN-90	4345 /	
0004	♪01012019005444_DN-90	8141 /	
0005	♪01012019010130_DN-90	83 /	
0006	♪01012019184039_DN-90	150 /	
0007	♪01012019184154_DN-90	1737 /	
0008	♪05162019165757_DN-90	400 /	

LOAD FILE

ENTER FOLDER

BACK

RENAME

DELETE

DOWNLOAD

5

4

7

8

File Upload

BROWSE

UPLOAD

3

11

Play Setting

Pitch

0%

0

PITCH M.KEY

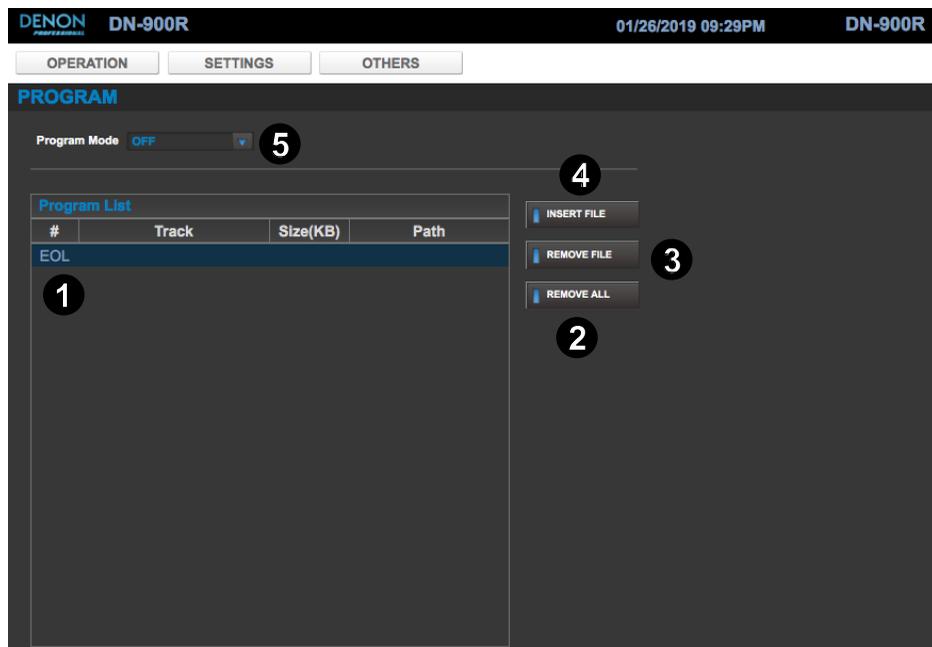
12

Panel Lock LOCK

13

コントロール画面では、現在のトラックリストを表示します (最大ファイル数 : 2000)。

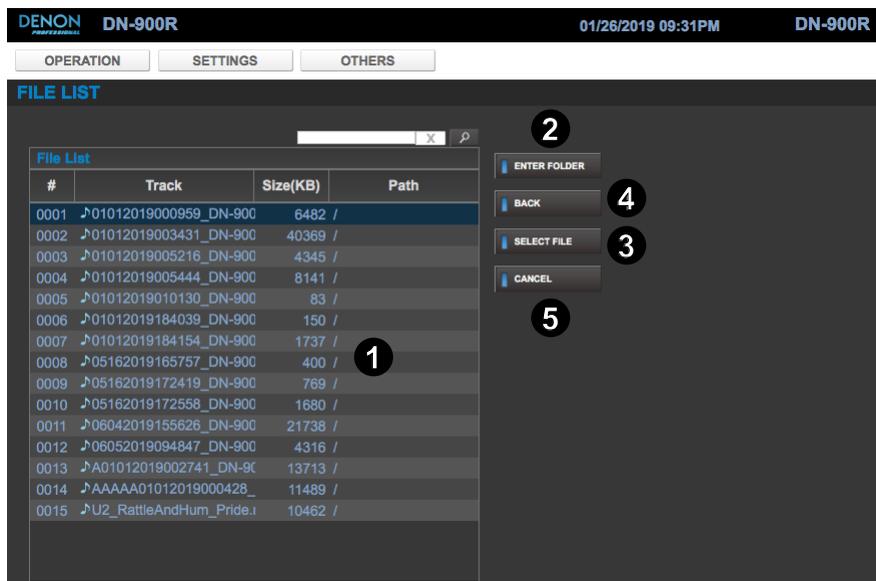
1. **トラックリスト**：DN-900Rのプレイリストです。MP3およびWAVデータのファイル名とサイズを表示します。
2. **録音入力レベル設定、録音入力Lch/Rchバランス設定**
3. **DOWNLOADボタン**：選択したファイルをコンピュータにダウンロードします。
4. **BACKボタン**：設定の変更をキャンセルします。
5. **ENTERボタン**：設定の変更を確定します。
6. **LOADボタン**：トラックリストで選んだファイルがDN-900Rで選択されます。
7. **RENAME**：カーソル上のファイル名が変更可能になります。
8. **DELETE**：選択したトラックをリストから削除します。
9. **時間およびステータス表示**：時間、トラック番号、操作状況、音量レベルが表示されます。-1 dBでOver (OV) が表示されます。
10. **トランスポートコントロール**
11. **File Upload**：ファイルを本機に読み込みます。
12. **PITCH**：トラック再生のピッチを調整します。
13. **Panel Lockボタン**：本機のShift、Lock、Powerを除くすべてのボタンを操作禁止にします。



プログラム (リスト) の設定をおこないます (最大99ファイル)

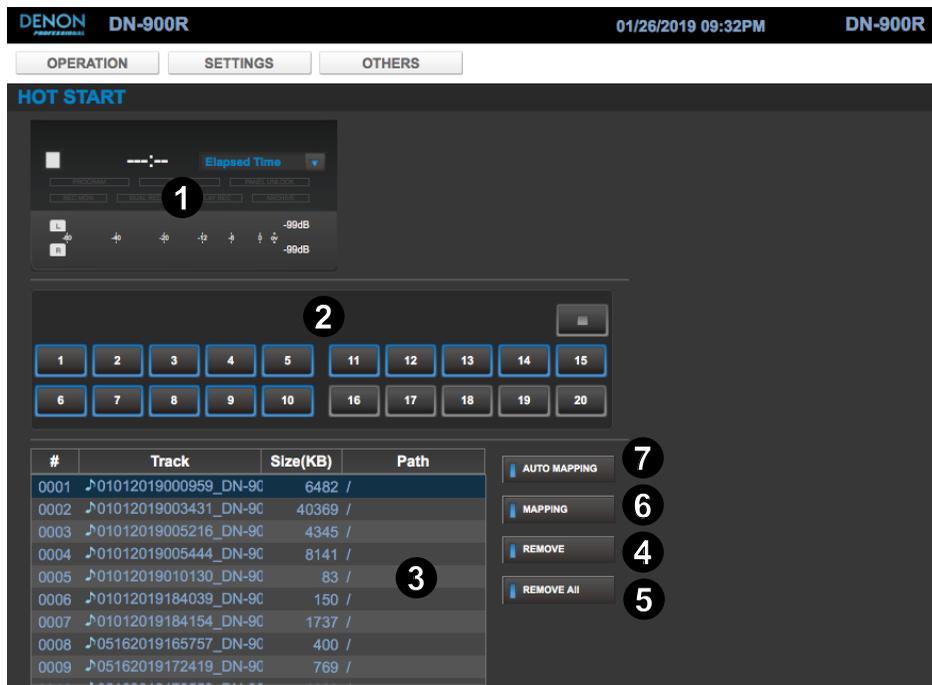
- 停止中のみ操作できます。
 - ファイルの削除およびプログラムリストへの追加ができます。
 - [Insert File]ボタンを押してファイルリストを表示し、挿入するトラックを選択します。
 - [Insert File]で選択したファイルは選択した行の1行上に挿入されます。 ファイルを最後に挿入する場合はEOL行を選択します。
1. **プログラム再生曲リスト**：再生されるトラックリストを表示します。
 2. **REMOVE ALLボタン**：プログラム再生曲リストのすべてのファイルを削除します。
 3. **REMOVE FILEボタン**：選択行を削除します。
 4. **INSERT FILEボタン**：ファイルリストへ移動します。ファイルリストで選択したファイルが、プログラム再生曲リストの選択行の上側に挿入されます。
 5. **Program Mode**：プログラムモードのオン/オフ

ファイルリスト画面



ホットスタート画面の **[MAPPING]** ボタン、プログラム画面の **[INSERT FILE]** ボタンを押すと、DN-900Rのファイルリストを表示し、ファイルを選択できます。

1. **ファイルリスト**：再生されるファイルのリストを表示します。
2. **ENTER FOLDERボタン**：リスト内の選択したフォルダを開きます。
3. **SELECT FILEボタン**：選択したファイルが、プログラム画面のプログラム再生曲リストまたはホットスタート画面のホットスタートリストに追加されます。
4. **BACK**：現在のフォルダのひとつ上の階層に行きます。
5. **CANCEL**：ファイルの選択操作をキャンセルします。



1. **トラック画面**：再生中のトラックの時間とレベルを表示します。
2. **Hot Startボタン**：ボタンに割り当てた曲の再生を開始します。
3. **Hot Startトラックリスト**：トラック、ファイルサイズ、フォルダパス、割り当てたHot Start番号を表示します。
4. **REMOVEボタン**：選択したHot Start番号の割り当てを解除します。
5. **REMOVE Allボタン**：全てのHot Start番号の割り当てを解除します。
6. **MAPPINGボタン**：Hot Startリストで選択した番号に個別にファイルを割り当てます。ボタンを押すとFile Listを表示して、Hot Startに割り当てるファイルを選択します。
7. **AUTO MAPPINGボタン**：現在のファイルリストの先頭から最大20ファイルを自動でHot Startに割り当てます。

システム設定画面

DENON DN-900R 01/26/2019 09:23PM DN-900R

OPERATION SETTINGS OTHERS

SYSTEM SETTING

SAVE CANCEL DEFAULT

GENERAL SETTINGS 4

Play Timer Priority Off 1 2 3

RECORD SETTINGS 5

Rec Folder Current Rec Folder Name DMH_REC
Signal Pass Thru On File Name Form UA_DT_MN
User Area Mode Off User Area

PLAYBACK SETTINGS 6

Mono Play Off Output Rate Auto

AUDIO I/O SETTINGS 7

Line/Mic Lch Line Line/Mic Rch Line Phantom Lch Off
Phantom Rch Off Mic In Sens Lch 40dBu Mic In Sens Rch 40dBu
Volume Input Variable Ref (XLR/RCA) +24dBu/+10dBV Input Trim Lch 0.0dB
Input Trim Rch 0.0dB Output Trim Lch 0.0dB Output Trim Rch 0.0dB

DISPLAY SETTINGS 8

Time Form 12h Date Form MDY Display Contrast 5

REMOTE SETTINGS 9

Serial Bit Rate 9600

1. **SAVE** : システムメニューでおこなった変更を保存します。
2. **CANCEL** : 変更を中止します。
3. **DEFAULT** : システムメニューの設定を初期化します。
4. **GENERAL SETTINGS** : Play Timer Priority を設定します。
5. **RECORD SETTINGS** : フォルダ名、録音フォルダの場所、ユーザーエリアのモードを設定します。
6. **PLAYBACK SETTINGS** : モノラル再生と Output Rate を設定します。
7. **AUDIO I/O SETTINGS** : 入力ボリューム、Input Trim、ファンタム電源、Output Trim を設定します。
8. **DISPLAY SETTINGS** : 時間/日付の表示形式、ディスプレイのコントラストを設定します。
9. **REMOTE SETTINGS** : シリアル通信ビットレートを設定します。

10 NETWORK SETTINGS

Machine Name	DN-900R	Network Standby	On
IP Mode	Auto	IP Address	172 28 0 55
MAC Address	00:05:95:01:BD:B0	Subnet Mask	255 255 252 0
IP Control Port	23	Gateway	172 28 0 1
NTP Mode	Off	DNS Server	10 70 0 20
Syslog Mode	Off	NTP Server	0 0 0 0
		NTP Cycle	H 01 :M 00
		Syslog Server	0 0 0 0

11 DANTE SETTINGS

Device Name	DN900R-810440	IP Address	172.28.0.51	MAC Address	00:1D:C1:81:04:40
Sample Rate	48000	Status	No Rx Source	Dante Reset	RESET

12 TIME ZONE SETTINGS

Time Zone	+ H 00 :M 00
Daylight Saving	Off
DST Offset	H 01 :M 00
Start Date	M 03 :D 10 H 02 :M 00 AM
End Date	M 11 :D 03 H 02 :M 00 AM

13 ADMINISTRATION SETTINGS

Admin Password		Retype		CLEAR	
Operator Password		Retype		CLEAR	
Observer Password		Retype		CLEAR	
ProdMgr Detectable	On	ProdMgr Ctrl	On	Auto Reboot	Off

10. NETWORK SETTINGS
11. DANTE SETTINGS
12. TIME ZONE SETTINGS
13. ADMINISTRATION SETTINGS

ユーティリティ画面 (UTILITY)

1 Software Version A-1.03

2 Software Update BROWSE UPDATE

3 Preset File BROWSE DOWNLOAD UPLOAD

4 Date M 01 /D 26 /Y 2019
Time H 09 :M 33 PM ADJUST

5 Log File DOWNLOAD

6 Format Media FORMAT

7 Speed Check CHECK

8 Operator Log-off DISCONNECT
Observer Log-off DISCONNECT

9 Power Control STANDBY

1. **SOFTWARE VERSION** : DN-900Rのソフトウェアのバージョン情報表示
2. **SOFTWARE UPDATE** : DN-900Rのファームウェアファイルのアップデート
3. **PRESET FILE** : プリセットファイルのダウンロード、アップロードをおこないます。
4. **DATE/TIME** : 本機の時計を設定します。
5. **LOG FILE** : ログファイルのダウンロードをおこないます。
6. **FORMAT MEDIA** : SDカードをフォーマットします。
7. **SPEED CHECK** : SDカードの書き込みおよび読み出しのスピードをチェックします。
8. **LOG-OFF** : [DISCONNECT] ボタンを押すと、使用しているユーザーの接続を切断できます。
9. **POWER CONTROL** : [STANDBY]ボタンを押すと、本体の電源をオフにします。

DENON DN-900R 01/26/2019 09:33PM DN-900R

OPERATION SETTINGS OTHERS

PRESET SETTING

- CURRENT PRESET NO.**
Preset No. 1: **Preset1**
SAVE CANCEL DEFAULT
- GENERAL SETTINGS**
Preset Title **Preset1** Shift Mode **Momentary** Power On **Stop**
- RECORD SETTINGS**
Dual Rec **Off** Relay Rec **Off** Rec Level Type **Master/Bal**
ALC **Off** One Touch Rec **Off** Audio Input **Bal**
Rec Format **MP3-128** Rec Channel **Stereo** Sample Rate **44.1k**
Pre Record **Off** Auto Track **Off** Auto Mark **Off**
Silent Skip **Off** Silent Level **-38dB** Silent Time **3sec**
- PLAYBACK SETTINGS**
Play Range **Folder** Play Mode **Continuous** Random **Off**
Program **Off** Finish Mode **Next** Repeat **Off**
Auto Cue **Off** Skip Back **5.0sec** Search Mode **Normal**
Auto Fade In **Off** Auto Fade Out **Off** Start Delay **Off**
End Of Message **Off** Master Key **Off**
- DISPLAY SETTINGS**
Time Display **HH:MM:SS** File Sort **Name** Dimmer **Off**
Display Dimmer **100%** LED Dimmer **100%** Screen Saver **Off**
SAVE CANCEL DEFAULT

1. **PRESET NUMBER** : プリセットファイルを選択します。
2. **GENERAL SETTINGS** : プリセット名、SHIFT ボタンの動作、電源のオンにしたときの動作を設定します。
3. **RECORD SETTING** : 録音の設定をおこないます。
4. **PLAYBACK SETTINGS** : 再生の設定をおこないます。
5. **DISPLAY SETTINGS** : 時間の表示方法、ディスプレイや LED の明るさ、スクリーンセーバーを設定します。

再生タイマー設定画面 (PLAY TIMER)

DENON PROFESSIONAL DN-900R 01/26/2019 09:35PM DN-900R

OPERATION SETTINGS OTHERS

PLAY TIMER

#	Title	Setting
01	Play Timer 01	<empty>
02	Play Timer 02	<empty>
03	Play Timer 03	<empty>
04	Play Timer 04	<empty>
05	Play Timer 05	<empty>
06	Play Timer 06	<empty>
07	Play Timer 07	<empty>
08	Play Timer 08	<empty>
09	Play Timer 09	<empty>

EDIT
INSERT
CLEAR
ALL CLEAR

PLAY TIMER SETTINGS

Timer Mode: Off

Schedule Type: DayOfWeek

Date: Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat

Time: H EveryH :M 00

File Name:

1. ファイルリスト：再生されるタイトルのリストを表示します。
2. EDIT ボタン：タイマー情報を入力、または編集します。
3. INSERT ボタン：選択しているタイマーの前に、新たなタイマー情報を入力します。
4. CLEAR ボタン：選択しているタイマー情報を消去します。
5. ALL CLEAR ボタン：すべてのタイマー情報を消去します。
6. PLAY TIMER SETTINGS：再生タイマー情報(再生開始時間、再生ファイル)を設定します。

DENON DN-900R 01/26/2019 09:35PM DN-900R

OPERATION SETTINGS OTHERS

REC TIMER

#	Title	Setting
01	Record Timer 01	<empty>
02	Record Timer 02	<empty>
03	Record Timer 03	<empty>
04	Record Timer 04	<empty>
05	Record Timer 05	<empty>
06	Record Timer 06	<empty>
07	Record Timer 07	<empty>
08	Record Timer 08	<empty>
09	Record Timer 09	<empty>

EDIT 2

INSERT 3

CLEAR 4

ALL CLEAR 5

REC TIMER SETTINGS 6

Timer Mode: Off

Schedule Type: DayOfWeek

Date: Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat

Time: H: EveryH :M: 00

Duration: H: 00 :M: 00

User Area Mode: Off

User Area:

1. **ファイルリスト**：録音スケジュールのタイトルをリスト表示します。
2. **EDIT ボタン**：タイマー情報を入力または編集します。
3. **INSERT ボタン**：選択しているタイマーの前に、新たなタイマー情報を入力します。
4. **CLEAR ボタン**：選択しているタイマー情報を消去します。
5. **ALL CLEAR ボタン**：すべてのタイマー情報を消去します。
6. **REC TIMER SETTINGS**：録音タイマー情報(タイマーモード、スケジュールタイプ、録音開始時間、録音時間、ファイル名に使用する文字)を設定します。

アーカイブ設定画面 (Archive)

DENON PROFESSIONAL DN-900R 01/26/2019 09:34PM DN-900R

OPERATION SETTINGS OTHERS

ARCHIVE SETTING

SAVE CANCEL DEFAULT CONNECTION TEST

MODE SETTINGS

Archive Mode **Off**

SCHEDULE SETTINGS

Schedule Type **DayOfWeek**

Date Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat **ALL**

Time H **12** :M **00** **AM**

FTP SERVER SETTINGS

Server **0 0 0 0**

User ID

Password

Folder **SELECT FOLDER**

OPTION SETTINGS

Clear After Arc **Off**

Auto Deletion **Off**

SAVE CANCEL DEFAULT CONNECTION TEST

Archive Mode

- **Off** : アーカイブしません。
- **Auto** : 録音完了したファイルを自動でアーカイブします。
- **Timed** : 録音完了したファイルを設定したスケジュールでアーカイブします。

Archive Schedule

アーカイブするスケジュールを設定します。Archive Modeで[Timed]を選択したときに表示します。

- **Day of Week** : 曜日と時間 (時、分) で設定します。
- **DateTime** : 日時(年、月、日、分) で設定します。

Server

FTP サーバーの IP アドレスを設定します。

- **IP Address** : 0.0.0.0 - 255.255.255.255 (お買い上げ時の設定は 0.0.0.0)
- **User ID** : ユーザーID を設定します。
- **Password** : ユーザーパスワードを設定します。
- **Folder** : アーカイブするサーバーのフォルダを選択します。

注 :

- ユーザーがドメインの一部である場合は、ドメイン\ユーザー名を入力します。
- 英数字およびほとんどの特殊文字が使用できます。

Clear After Arc.

アーカイブが完了したファイルの自動消去を設定します。

- **Off** : アーカイブが完了したファイルを消去しません。
- **On** : アーカイブが完了したファイルを自動で消去します。

Auto Deletion

停止状態のとき、メディアの録音容量が選択時間未満になったらアーカイブ実施済みのファイルを古い順に消去します。

- **Off** : 消去しません。
- **24h** : 録音容量が 24 時間未満になったらアーカイブ済みのファイルを消去します。
- **12h** : 録音容量が 12 時間未満になったらアーカイブ済みのファイルを消去します。
- **6h** : 録音容量が 6 時間未満になったらアーカイブ済みのファイルを消去します。
- **3h** : 録音容量が 3 時間未満になったらアーカイブ済みのファイルを消去します。
- **1h** : 録音容量が 1 時間未満になったらアーカイブ済みのファイルを消去します。

Connection Test

FTP サーバーとの通信テストをおこないます。

Default

アーカイブの設定内容を初期化します。

ファイルのアーカイブ

現在のメディアの録音済みファイルを FTP サーバーへ転送しバックアップする機能です。

1. 停止中に **MENU** を押します。メニュー一覧を表示します。
2. **ジョグダイヤル**を回して[**Archive Setting**]を選び、**ENTER** を押します。アーカイブセッティングアイテムを表示します。

注：Clear After Arc.が[On]のときは、アーカイブが完了したファイルは消去されます。

3. **ジョグダイヤル**を回して設定を変更したい項目を選び、**ENTER** を押します。アーカイブが開始すると、[Now Archiving...]を表示します。アーカイブが完了すると、[Archive Completed]を表示します。

次の状態のときは、アーカイブが[Auto]または[Timed]が設定されていてもアーカイブを実施しません：

- 再生中
- 録音中で録音モニター動作中
- デュアル録音中
- サンプリングレート 96kHz の WAV 録音中
- 選択したメディアが書き込み禁止
- メニュー画面表示中

シリアルリモートコントロール機能

シリアルリモートコントロール機能では、パソコンなどのホストを本機に接続して使用します。ホスト機器から制御コマンドを送信することで本機の操作をおこない、動作状況は本機とホスト機器の両方で確認できます。ホスト機器と本機の接続方法は、RS-232CとIP コントロールの2種類から選べます。

注：詳細は dennonpro.com の DN-900R 製品ページのシリアルプロトコルガイドをご参照下さい。

RS-232C コントロール

RS-232C シリアル端子(D-sub 9ピン)をRS-232C ストレートケーブルに接続することで、ホスト機器による外部からの3つの制御がおこなえます。3つの制御は以下のとおりです：

1. ホスト機器からの本機のコントロール
2. ホスト機器からのステータス要求コマンドに対し、ステータス情報を出力
3. 本機のステータスが変ったとき、自動的にステータス情報をホスト機器へ出力

接続について

- 伝送方式：調歩同期式 全二重通信
- 適合コネクタ：9 ピン D-sub (オス)
- 通信速度：9,600/38,400bps 選択式 (System Setting： Serial Bit Rate)
- データビット：8bit
- パリティ：None
- スタートビット：1bit
- ストップビット：1bit
- フローコントロール：None

ピン配置

ピン番号	信号名
1	Ground
6	NC
2	TxD
7	RTS*
3	RxD
8	NC
4	NC
9	NC
5	S. Ground

* RTS は 4V 500mA の電源供給ができます。

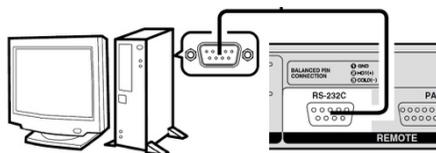
IP コントロール (イーサネット)

イーサネットケーブルをイーサネットコネクタに接続することによって、3つの制御をおこなうことができます (適応コネクタ: RJ-45 (10BASE-T/100BASE-TX))。

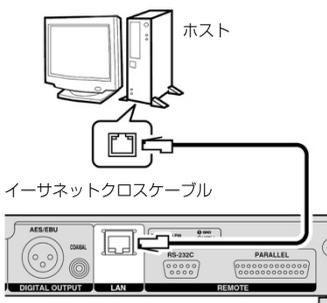
通信フォーマット

- 通信システム: 全二重通信
- 通信速度: 10Mbps/100Mbps
- 通信ポート: TCPポート23 (telnet)
- 通信データ長: 135 バイト (最大)

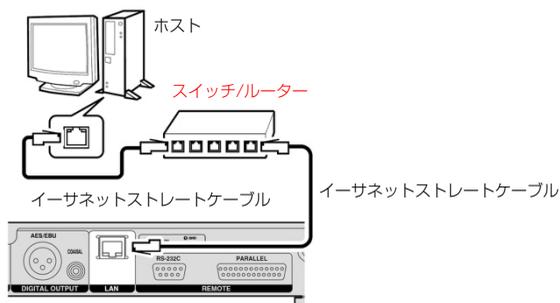
RS-232C ストレートケーブル



ホスト機器とのダイレクト接続



スイッチ/ルーター経由による接続



トラブルシューティング

エラー表示	原因 / 対策
No Media	メディアが検出できていません。
Unformat	ファイルが対応しているフォーマット以外でフォーマットされています。メディアを本機でフォーマットするか、フォーマットをFAT16 または FAT32 に設定してください。
Media Full	メディアの残容量がありません。新しいメディアと交換、もしくは不要なファイルを消去してください
Track Full	選択したメディアのファイル数が 2000 を超えています。2000 を超えると、録音できません。新しいメディアと交換、もしくは、不要なファイルを消去してください。
Write Inhibited	選択したメディアが書き込み禁止です。メディアのライトプロテクトを解除してください。
File Not Found	対象ファイルが存在しません。ファイルの確認をしてください。
Track Not Found	対象トラックが存在しません。メディアの確認をしてください。
Already Exists	他に同じファイル名がすでに存在しています。 <ul style="list-style-type: none"> Copy, Move, Divide : フォルダの内容を確認してください。 Rename: Rename : ファイル名を変更してから確定を押してください。
Err Media XX	本機に対応していません。メディアを交換してください
VBR	VBR ファイル検索したときに表示されます。VBR ファイルでは検索ができません。また、ファイルの残り時間はおよその時間を表示します。
Not Allowed Not Available	無効な操作をおこなった場合に表示されます。プリセットメニューなど、他の設定項目によって操作が無効となることがあります。操作内容を確認してください。
No Mark	マークジャンプ用のマークがありません。マークを設定してください。
Some files are skipped	コピーまたは移動先に同名のファイルがあります。同名のファイルのコピー、移動はできません。
ALC	ALC 設定が有効な場合、Rec Level の変更はできません。Rec Level を変更する場合は、ALC 設定を Off にして下さい。
Registered	編集しようするファイルがプログラム、ホットスタートもしくはタイマー再生のリストに登録されていると表示されます。リストに登録されているファイルは編集できません。

エラー表示	原因 / 対策
No Backup Media (XXX)	バックアップメディアが検出できていません。
Media Write Inhibited (XXX)	バックアップメディアが書き込み禁止です。メディアのライトプロテクトを解除してください。
Backup Media Full (XXX)	バックアップメディアの残量がありません。新しいメディアと交換、もしくは不要なファイルを消去してください。
Dual Rec Canceled (W01)	選択したメディアとプリセットで設定したバックアップメディアが同一メディアです。デュアル録音をキャンセルして、通常録音をおこないます。
Dual Rec Canceled (W02)	録音モニターがオンです。デュアル録音をキャンセルして通常録音をおこないます。
No Secondary Media (XXX)	セカンダリーメディアが検出できていません。
Secondary Media Write Inhibited (XXX)	セカンダリーメディアが書き込み禁止です。メディアのライトプロテクトを解除してください。
Secondary Media Full (XXX)	セカンダリーメディアの残量がありません。新しいメディアと交換、もしくは不要なファイルを消去してください。
Server Not Found	サーバーへ接続できません。または、見つかりません。
Account Error	サーバーへログインできません。
Folder Not Found	アーカイブ先のフォルダが見つかりません。
Err Media XXX	選択したメディアから情報が取れません。
Server Media Full	サーバーの容量が一杯です。
Err Network	データ転送中にエラーが発生しました。
Not Connected	正しくDN-900R と接続されているか確認をしてください。その後も表示される場合は、ケーブルを交換してください。
No Media	DN-900R に装着されているメディアが検出できていません。メディアを入れ直してください。

* XXX: SD1, SD2, USB

技術仕様

入力	Mic/Line In (2 XLR コネクタ), Line In (2 RCA コネクタ), Digital In (1 AES/EBU, 1 S/PDIF), Dante Digital In (RJ-45 コネクタ)
Balanced Analog In L/R	<p>タイプ : XLR (1:GND, 2:Hot, 3:Cold) Lineセッティング入力レベル : +4 dBu 最大入力レベル : +24 dBu/+20 dBu/+18 dBu 入力インピーダンス : 20 kΩ MIC セッティング入力レベル : -60 to 16 dBu 入力インピーダンス : 5 kΩ EIN : Less than -127 dBu ($R_s = 150 \Omega$) CMRR : <80 dB</p>
Unbalanced Analog In L/R	<p>タイプ : RCA端子 入力レベル : -10 dBV 最大入力レベル : +10 dBV/+6 dBV/4 dBV 入力インピーダンス : 10 kΩ</p>
Unbalanced Digital In	<p>タイプ : RCA端子 入力インピーダンス : 75 Ω 標準入力レベル : 0.5 Vp-p フォーマット : IEC-60958 (Coaxial)</p>
Balanced Digital In	<p>タイプ : XLR (1:GND, 2:Hot, 3:Cold) 入力インピーダンス : 110 Ω 標準入力レベル : 3.5 Vp-p フォーマット : IEC-60958 (AES/EBU)</p>
Dante Digital In	<p>タイプ : 100 Mbps Ethernet RJ-45 connector フォーマット : 24 bit; 48, 44.1 kHz sampling rates, uncompressed</p>
出力	Balanced Analog Out L/R (XLR), Unbalanced Out L/R (RCA), Balanced Digital Out (AES/EBU), Unbalanced Digital Out (S/PDIF), Headphone Output (1/4" / 6.35 mm), Dante Digital Out (RJ-45 コネクタ)
Balanced Analog Out L/R	<p>タイプ : XLR (1:GND, 2:Hot, 3:Cold) 負荷インピーダンス : Over 600 Ω 出力レベル : +4 dBu at 600 Ω load 最大出力レベル : +24 dBu/+20 dBu/+18 dBu</p>
Unbalanced Analog Out L/R	<p>タイプ : RCA端子 負荷インピーダンス : Over 10 kΩ 出力レベル : -10 dBV 最大出力レベル : +10 dBV/+6 dBV/+4 dBV</p>
Balanced Digital Out	<p>タイプ : XLR (1:GND, 2:Hot, 3:Cold) 出力インピーダンス : 110 Ω 標準出力レベル : 3.0 Vp-p フォーマット : IEC-60958 (AES/EBU)</p>
Unbalanced Digital Out	<p>タイプ : RCA端子 出力インピーダンス : 75 Ω 標準出力レベル : 0.5 Vp-p フォーマット : IEC-60958 (Coaxial)</p>

Dante Digital Out	タイプ : 10/100 Ethernet RJ-45 コネクタ フォーマット : 24 bit, 48, 44.1 kHz sampling, uncompressed
Dante Network Audio	レイテンシー : 1 ms 以下 (補助シグナルパスを含む) サンプリングレート : レコーダーのサンプリングレートを Dante Network のサンプリングレートに変換するため、DN-900R は出力に SRC を使用します。 サンプリングビット深度 : 24 bit
対応メディア	SD/USB メモリー/USB HDD
ヘッドフォン出力	1/4 インチ (6.35 mm) 20 mW/32 Ω
ストレージ	最大ストレージ容量 : 2TB まで 最大ファイルサイズ : 2GB 最大ファイル数 : 2000 ファイル (1フォルダあたり) 最大フォルダ数 : 1000 フォルダ 最大フォルダ階層数 : 8 (ルートディレクトリ直下)
ファイルシステム	FAT16, FAT32, HFS+, exFAT
ファイル形式仕様	対応メディア : SD, SDHC, USB メモリー, USB HDD 拡張子 : WAV, AIFF, AIF 解像度 : 16 bit, 24 bit サンプリング周波数 : 44.1k, 48k, 96k
再生可能 MP3 形式	拡張子 : MP3 ビットレート : 32 - 320 kbps, VBR サンプリング周波数 : 44.1k, 48k
再生可能 AAC 形式	拡張子 : M4A 圧縮方法 : AAC-LC ビットレート : 64 - 320 kbps, VBR サンプリング周波数 : 44.1k, 48k
チャンネル数	2 (ステレオ), 1 (モノ)
オーディオ周波数特性	Line / Mic (-16 dBu) (+0.5 dB / -1 dB)
S/N比	<89 dB (A-weighted)
全高調波歪率	0.01%以下
ダイナミックレンジ	<106 dB (for 24 bit WAV再生時)
チャンネルセパレーション	> -90 dB
ピッチ可変幅	-16% to +16%
Trim 調整可変幅	+/-2.0 dB
電源	接続 : 標準 IEC (スイッチング電源) 入力電圧 : 100 - 240V AC, 50/60 Hz 消費電力 : 30 W, 0.4 W (スタンバイ時), 3.4W (ネットワークスタンバイ時)
環境条件	動作温度 : 5 - 35°C 動作湿度 : 25 - 85%, 結露なきこと 保管温度 : - 20 - 60°C

サイズ (w x d x h)	430 x 241 x 43 mm
重量	2.6 kg

仕様は予告なく変更になることがあります。

商標およびライセンス

Denon は米国およびその他の国に登録されている D&M Holdings Inc.の商標です。Denon Professional 製品は、inMusic Brands, Inc., Cumberland, RI 02864, USA によって製造されています。Dante®は Audinate Pty Ltd. の登録商標です。iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。Android は Google Inc.の登録商標です。SD および SDHC は、SD-3C, LLC の登録商標です。他のすべての製品名、会社名、商標、または商号は、それぞれの所有者のものであります。

